



友達のママは
パンモロ連発!

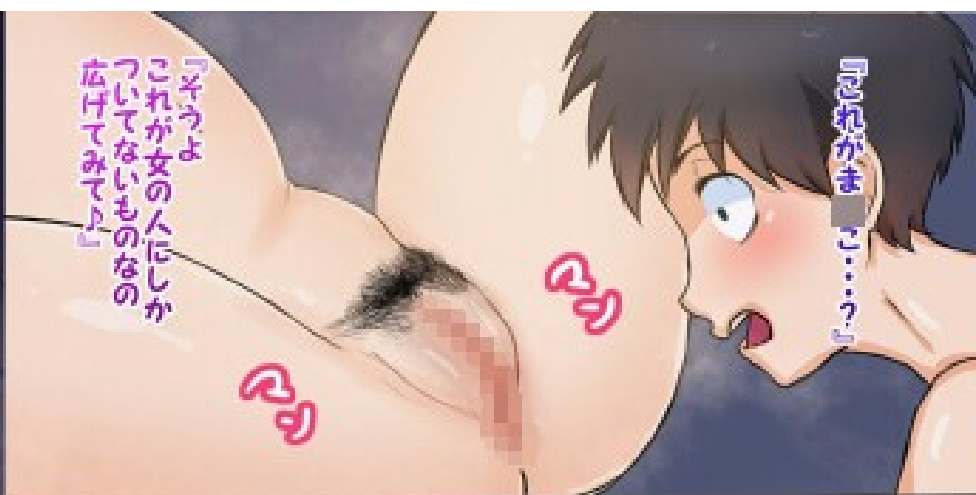
「は、はうあ!」

「ジュースとお菓子
持ってきたわよ」

「おめー部屋散らかして
仕方ない子ねえ!」

ありがとうございます





まさかの性教育！
これが本当のママ♪





優しいママ コに 甘えまくり





『はあ...おちんぽ...
おち ぽほほしいわあ...誰でもいいから
ズボズボおま こほじくってほしい』

父さんとセックスレスで
イライラしっぱなしの母さん





CG



基本









僕の二人のママ

箱舟

基本CG60枚

『お邪魔しますーす』



今日は友達の浜辺君の家に泊まりに来た浜辺

『いらつしやい あなたが健くんね♪
私はこの子のママの雅子
いつもうちの子と遊んでくれてありがとうね
自分の家のようにくつろいでいいからね♪』

『は、はい』
雅子おばさん…すごい美人だ〜
おっぱいもおおきいし 優しい…
うちのお母さんとは大違いだなあ…



ママがこんな人だったら
毎日楽しいだろうな〜♪

ハァハァ

『へるわよ〜』

『ありがとうございます』

『ジュースとお菓子
持ってきたわよ』



『もおゝ部屋散らかして
仕方ない子ねえ』

プリ

『は、はうあー!』

うわあ…パンツ見えちゃってるよ…
雅子ママのパンツ…
これなんていうんだっけ
ていーばっく?
すげえエロイ…

お尻の穴まで見えちゃうそう…
あそこも…女の人の大事なところが…
すごいよ…
パンツ最高…

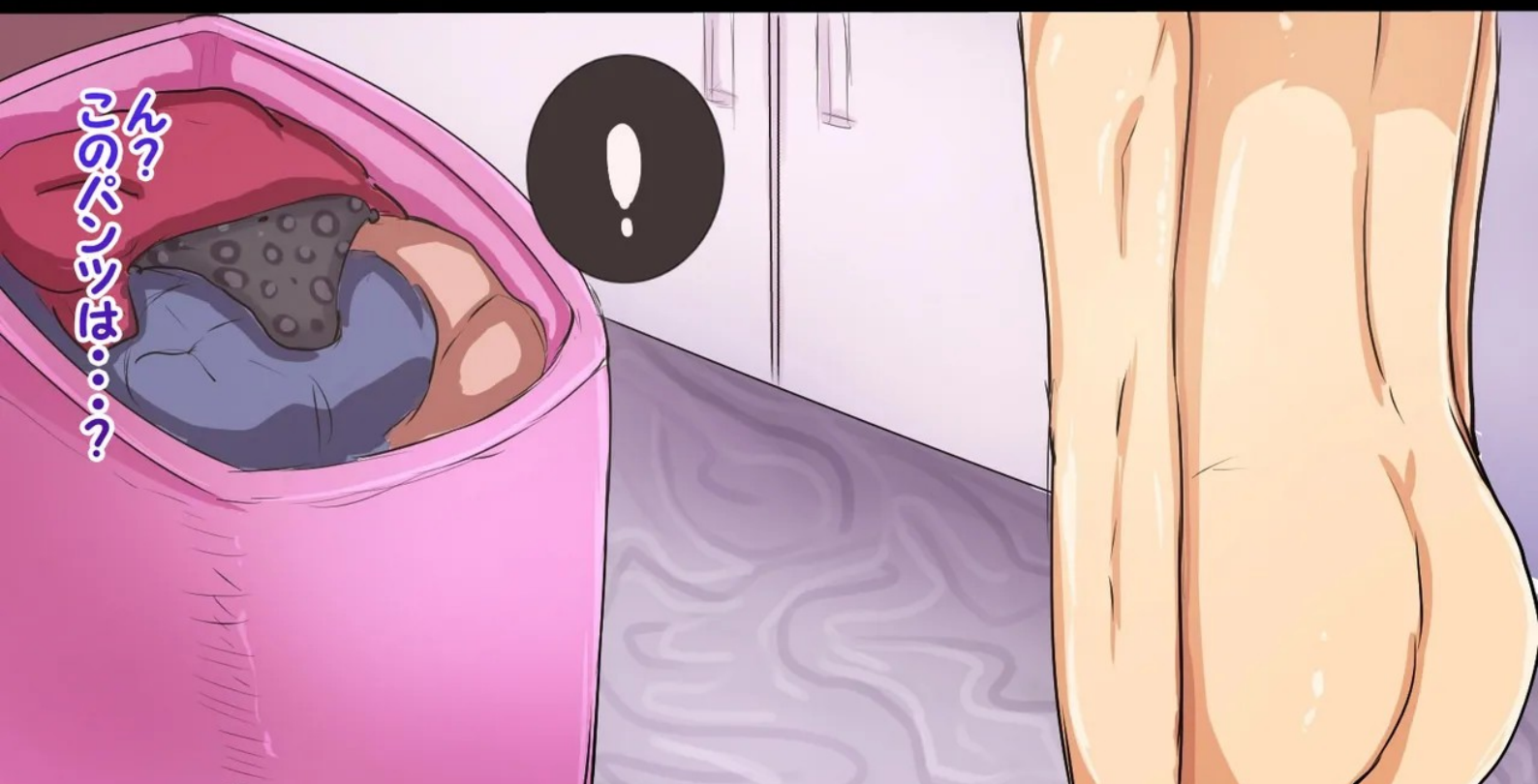


『今のゲームってすごいわねえ
私が子供の頃とは全然違うわ』

ふふ

雅子ママはずっとパンツの見える姿でいた…
俺はちんちんがずっと大きくなっていた…





間違いないよこれ…
さっきまで雅子ママが履いてたパンツジャン…

トロ

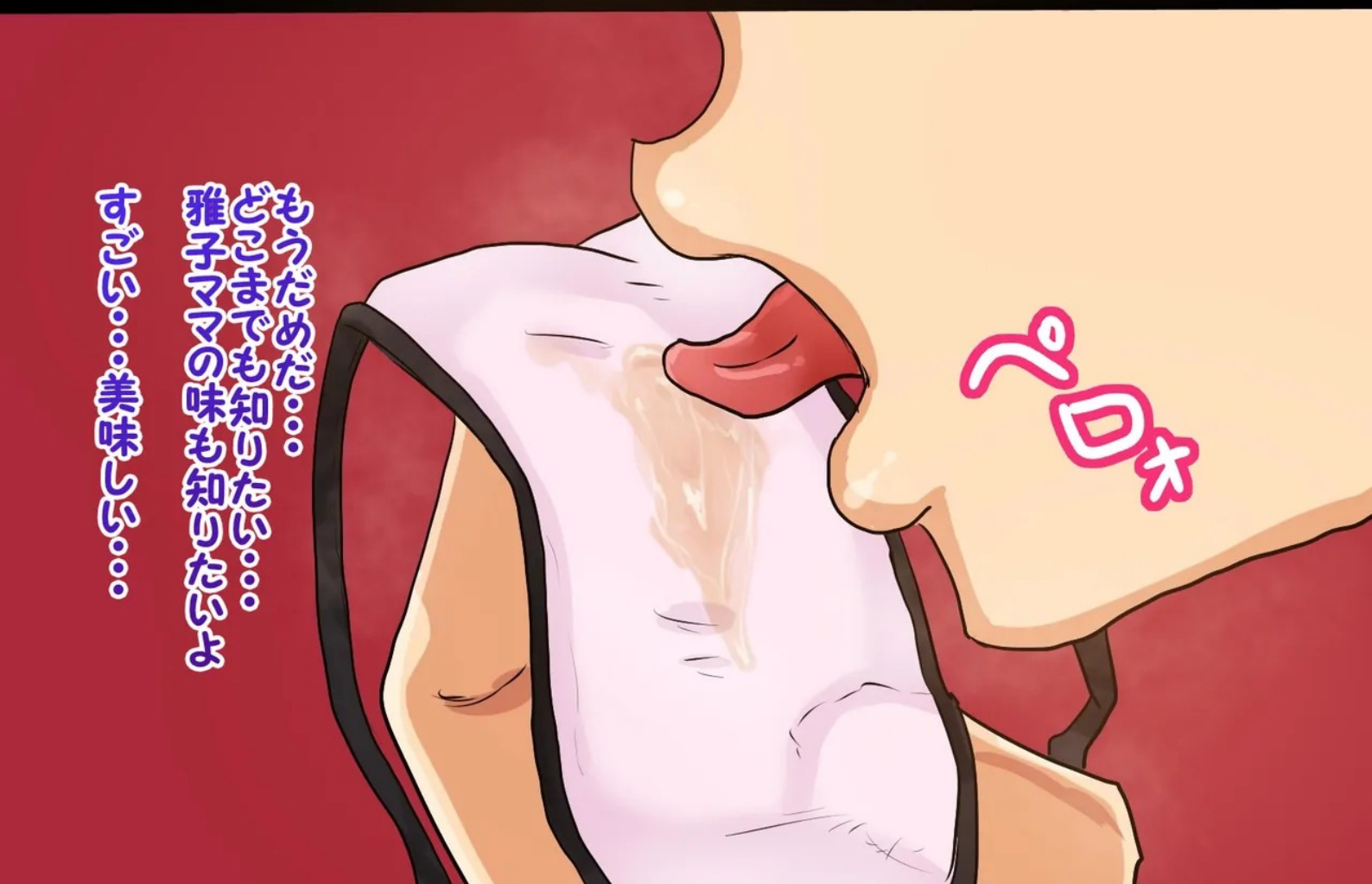
雅子ママのあそこが触れてた部分…
汚れてる…

あ、やば…
またおちんちんが…

ピン

ピン

苦しくなってきた…







『あふあああああ!』

『!?!』

びしょ

びしょ

びしょ

『ご、ごめんなさい……おれ
さつき雅子ママのパンツ見えちゃって
我慢できなくて パンツ見つけたらもつと我慢できなくなっちゃって……』

『おしっこもかけちゃって……
許してください……』





『だって出したときおしっこよじ
気持ちよかったでしょう?』
おばさんが教えてあげるから
部屋にいらつしゃい♪』

『いいのよ
それにはおしっこじゃないのよ』

ニムアア



『だって出したときおしっこよじ
気持ちよかったでしょう?』
おばさんが教えてあげるから
部屋にいらつしゃい♪』

『いいのよ
それにはおしっこじゃないのよ』

ニムアア



『だって出したときおしっこよじ
気持ちよかったでしょう?』
おばさんが教えてあげるから
部屋にいらつしゃい♪』

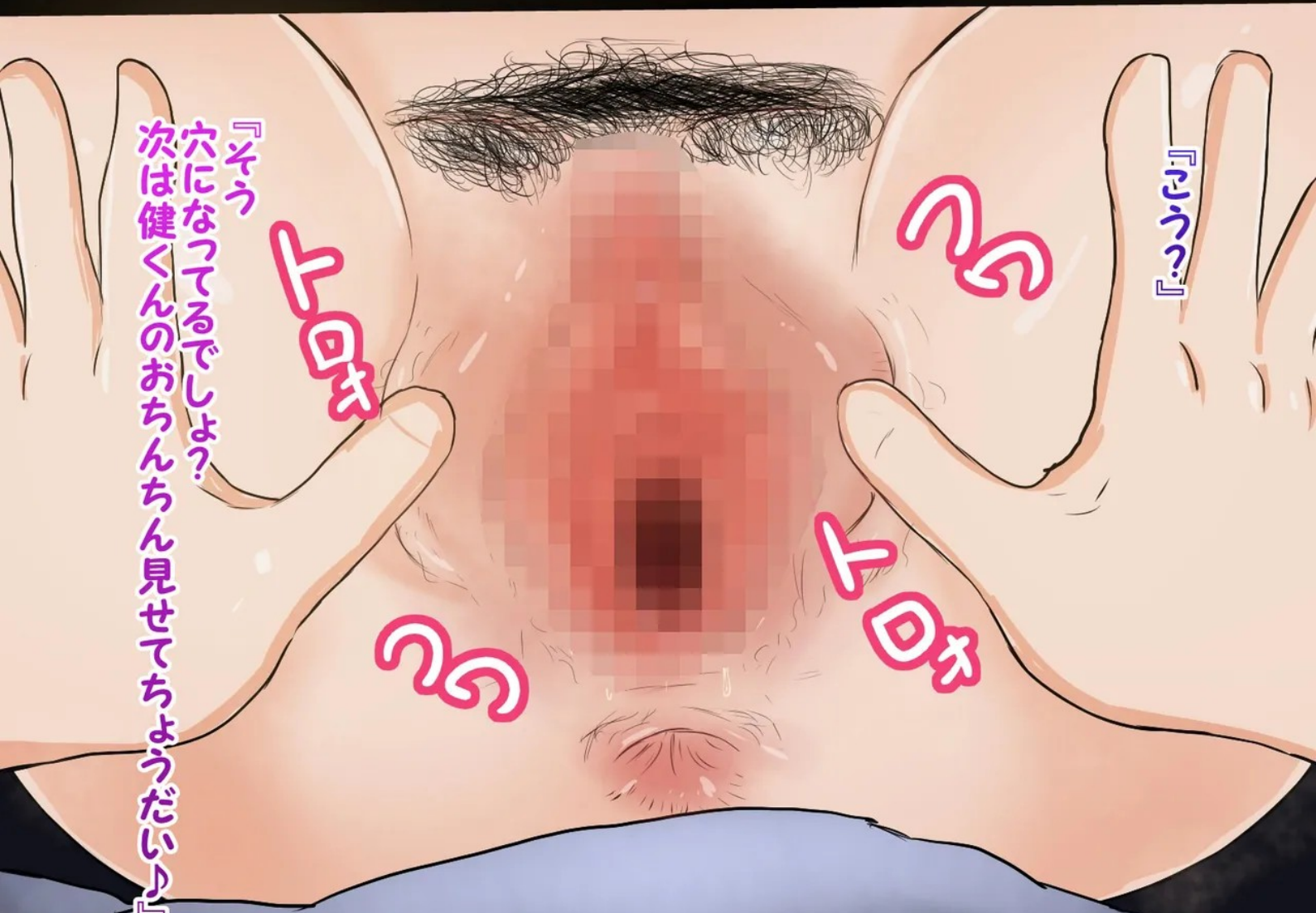
『いいのよ
それにはおしっこじゃないのよ』

ニムアア

『あの白いおしっこは精子っていうのよ
男の子なら出て当然なのよ
成長してる証なの』

『さあいらっしやい
おばさんのおまんこ見せてあげるから』





『恥ずかしいよ…雅子ママのマング見たら
こんなに大きくなっちゃうんだ』

『恥ずかしくなんかないわ♪マング見て大きくなるのは
男の人として当然だし カッコいいわよお
それにおばさんはとっても嬉しいわあ♪
こんなに硬く大きくなってくれて♪
だからお礼に健くんをきもちよくさせてあげる♪』



『むっっっっきゅちゅっっっされるの?』

『なんだかくすぐったいけど...気持ちいいよ』



『いただきますーすっ』

『ウワッーおちゃんば食べられちゃってる！
気持ちいいーさっきより気持ちよくなっ
ちやうよ』

ゲロッ

ゲロッ

ゲロッ

ゲロッ



『ママ！ちゃんと金玉食べられるのやばいよ！』

『さっきの
気持ちいい
のが
また来ちゃう』



『ううううはあああ
気持ちいいー!』

『おぐううー!』

ホー!!



『みへえほら
おしつこと違ってねばねばしてて
白いでしょう?』

『ほんとだ』

トホ...

『これは大人の
男の人にしか出ない男の証なの
それにこれをおまんこの中に出してくれと
おばさんはすごくうれしいの』

トモ...

『えっおまんこのなかに?』



『そっせつかく健くんの精子だから
残さずいただくわあ』

『ええう？汚くないの？』

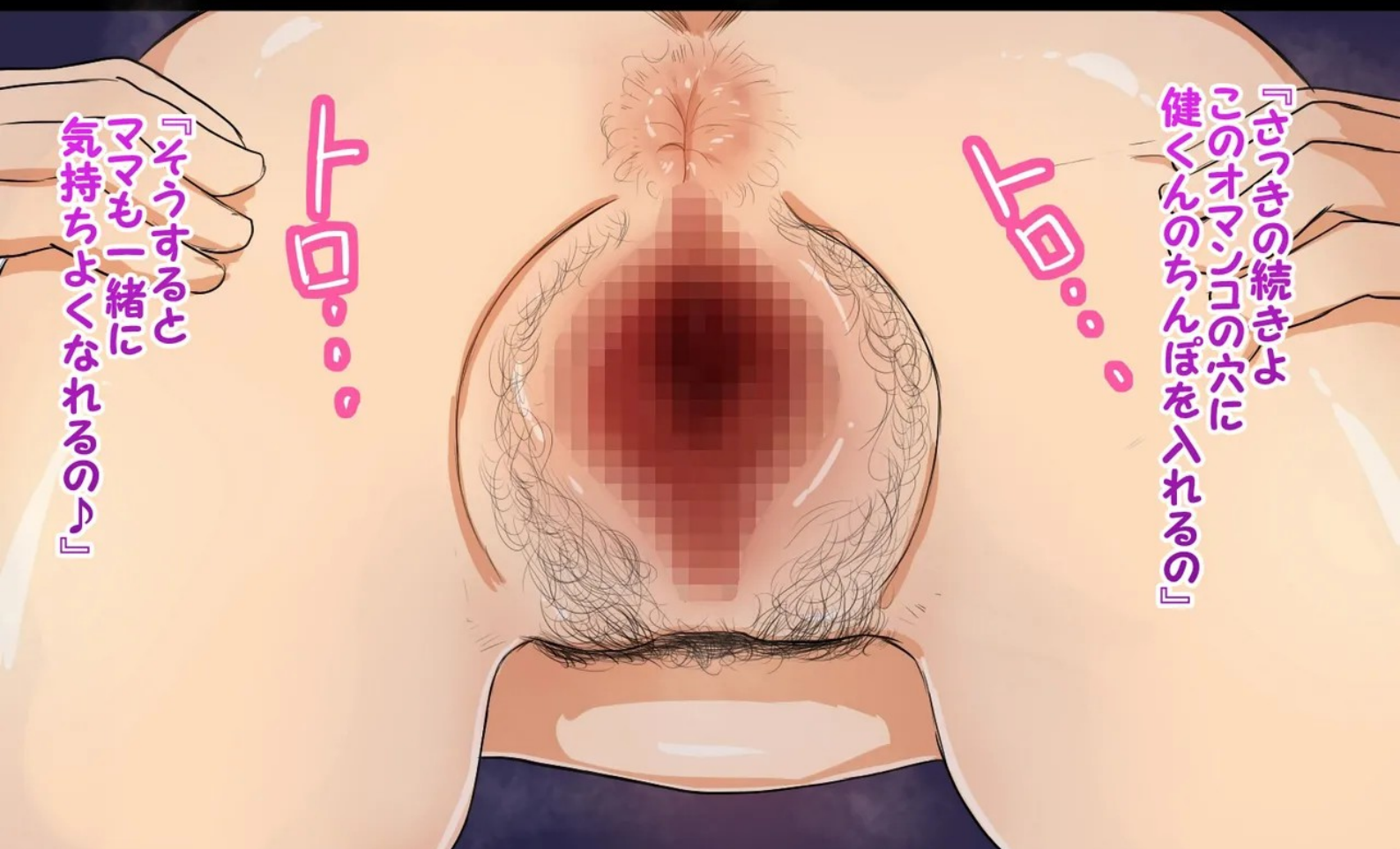
『汚くなんかないわよ
これは食べると女の人
はきれいになれるのよ』

『そうなんだね』



『ママ…俺…もうママに
甘えたい…うちの母さんには
甘えられないから…
もっと欲しい』

『いいわよ
おばさんが健くん
ママになってあげる』



『わかったーじゃあ入れる！
ううん…でもうまく入らない
おまんこにおちんちんほんとに入るの？』

グググ...

『大丈夫よ 焦らないで
ママに任せてね♪』

『そーれ♪』

ズン

『ああふー！』

『あああすごい気持ちいい!』

アッ

『いいわあ
ママもすごく気持ちいい♪』

『ママも気持ちいいの?
じゃあもつと気持ちよくしてあげる!
うおおおおおおおおお』

『その調子よお』

ド

ド

ド

ド

ド

ド

ド

ド

ド



『いい！若い子の問答無用のガン突き♪
もう健くんの雌になっちゃう♪』
『ほんとー！俺だけの雌になってくれるのー！？』

『ほんとよママにもメスにもなっちゃう！』





『はぁ マンコ気持ちいい』

ポロポロ



『みてえ健康くん
ママのオマンコの中に精子
いっぱい出したから
こんなにブリュブリュ溢れちゃったっ』

『おまんこ嬉しくて
震えが止まらないわあっ』

うげゅん
うげゅん

あ…またしたい…
ママのオマンコ』

ゴウ…

『ママ 俺また
したくなっちゃった
いいよね？ママは
俺のメスなんだから
キス』

『もちろんよっ』



ドッ

×××

×××

×

『うおおおおおおお
おおおまんこおおおおお』

うはあ♡♡♡



『はあ おなかいっぱい♪』

トプ

『オマンコの中健くんでいっぱい♪』



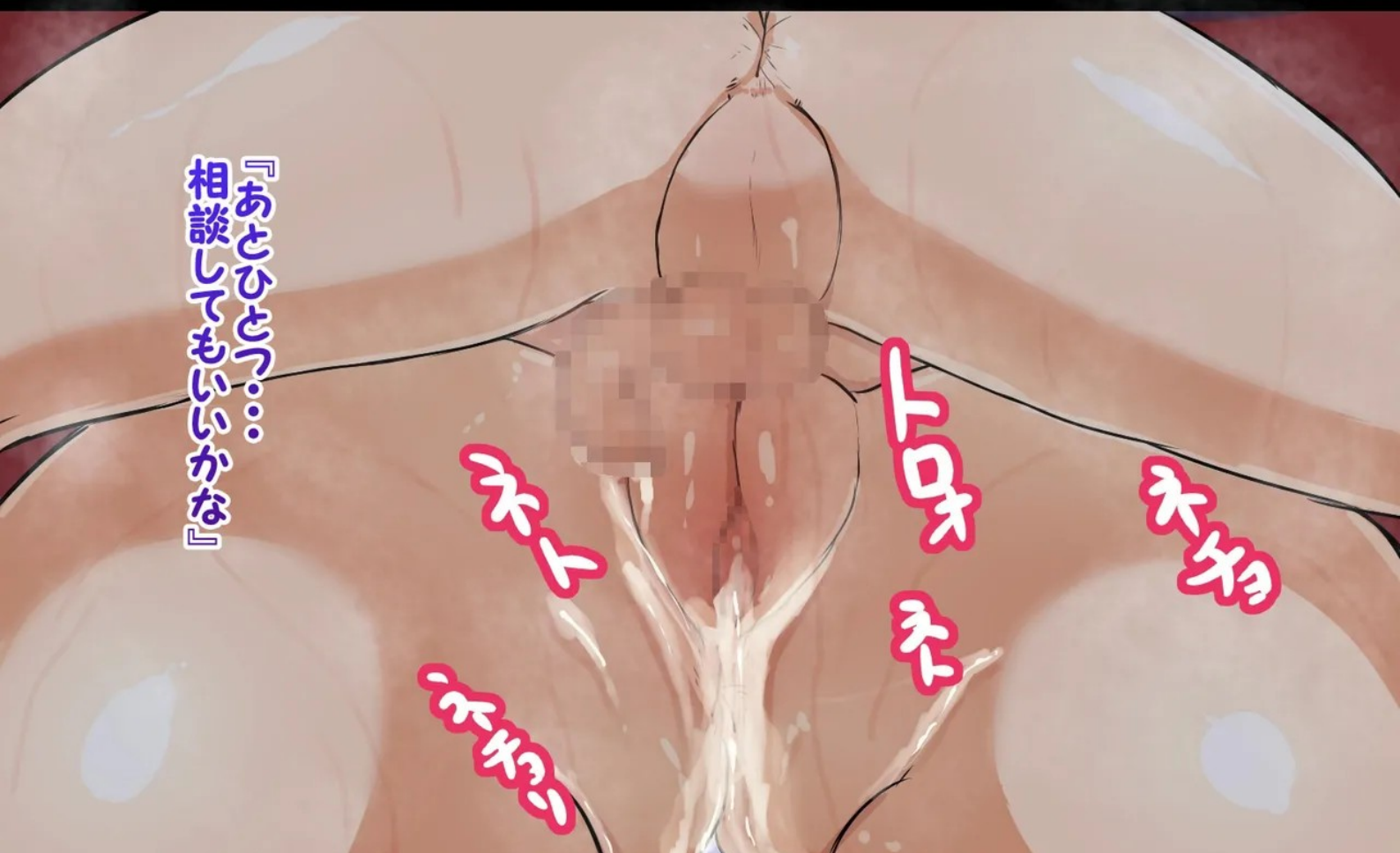


『まま、ありがとう…
俺にこんな優しくしてくれて』

『ううん』

ハァ

ハァ



『あとひとつ…
相談してもいいかな』

ネー

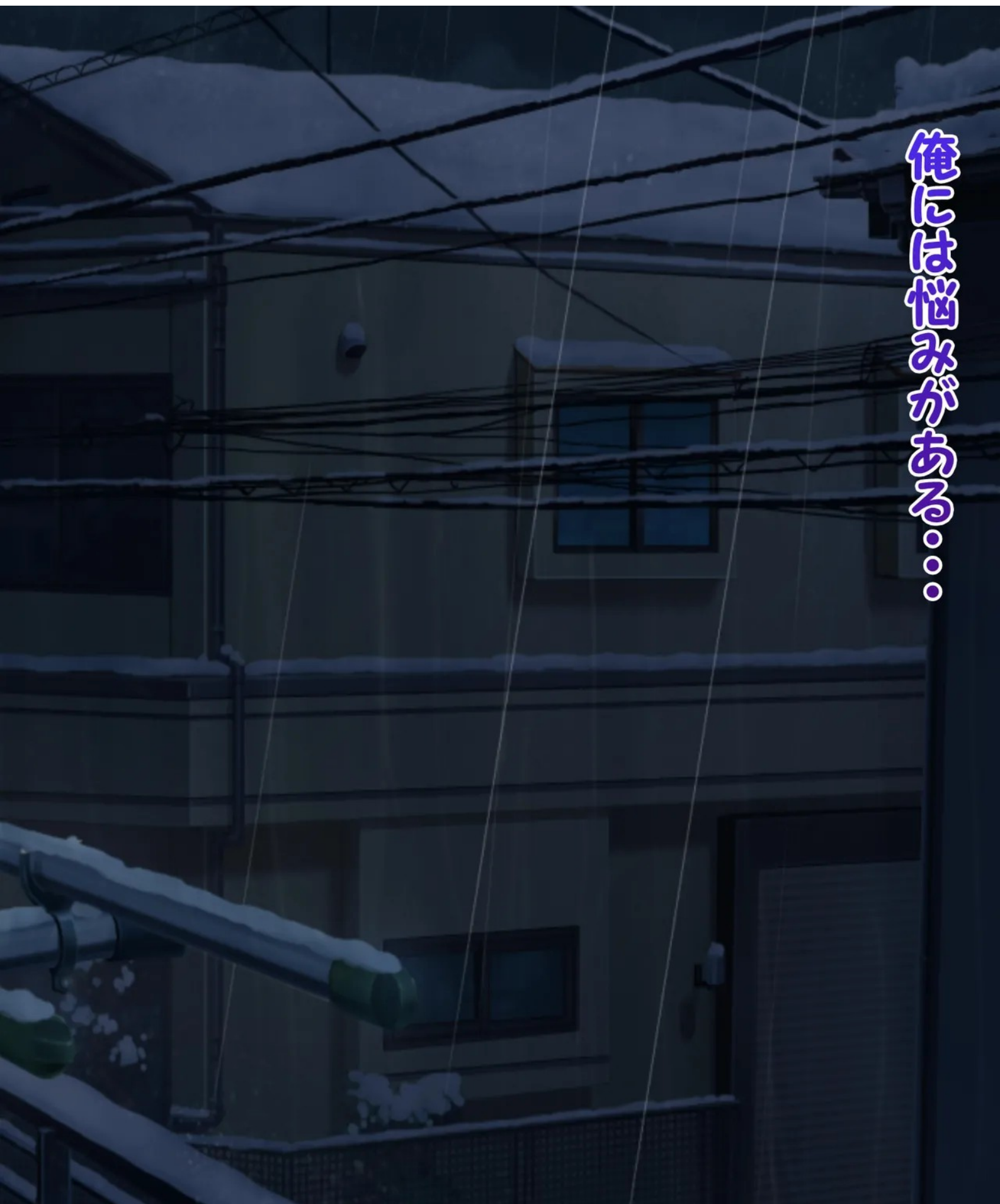
ネー

トロ

ネー

ネー

俺には悩みがある...



数日後 夜

『あ……ただいま……』

『門限すぎてるわよ
あなた宿題はやったの？
ちゃんと言いつけは守りなさい！』

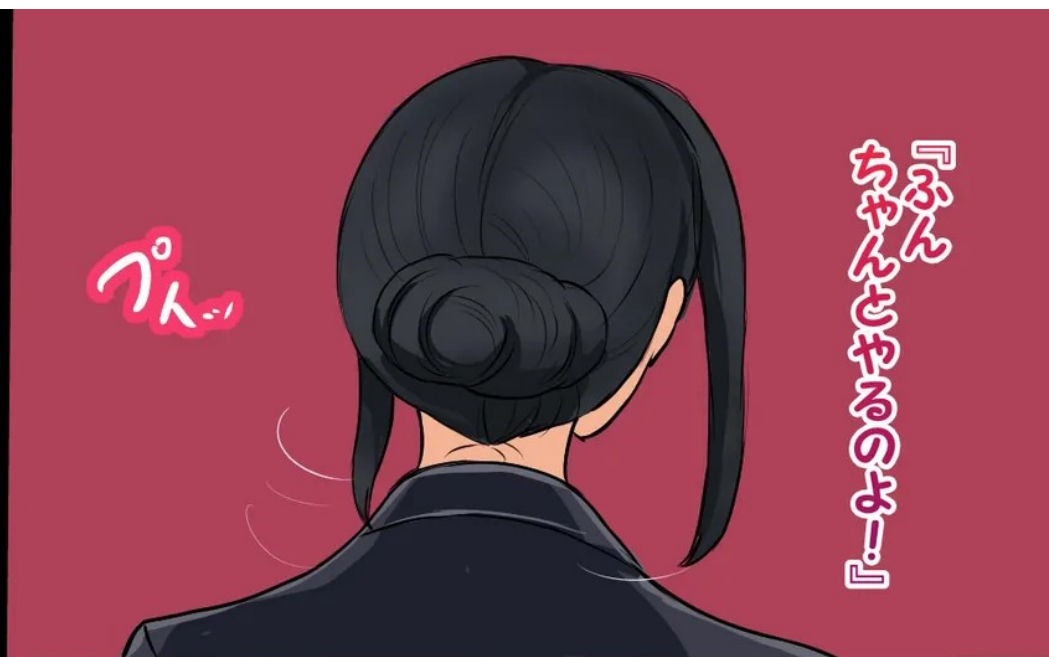
こいつが俺の本当の母さん
いつも厳しくてイライラしてる……
ほめてもらったことなんか 一回もない

『今からやるよ……』





くそばあ!
#



『ふん
ちゃんとやるのよ!』



こうなったらママに相談して
教えてもらった作戦使うぜ!

ア

ア

『ねえあなたあ
いいでしょう？明日からまた出張なんですよ？
最近全然構ってくれないじゃない
だから、ね？』

『勘弁してよ……
疲れてるんだ………』

『そうやっていつも……』

パティュー~~~~

ほんとだ
ママのいう通りじゃん

ニヤ

こいつ父さんと
エッチ出来ないから
俺に八つ当たりしてるだけじゃんか

『はぁ・・・おちんぽ・・・
おちんぽほしいわぁ・・・誰でもいいから
ズボズボおまんこほじくってほしい』



『あなたまた宿題
やってないし
テストの成績も悪いし
どうしていつもそうなの
もっと頑張りなさいよ!』

『うるせえよ
淫乱ばあ』

『はあ?今なんて言ったのよ?』

『母さんセックスしてやるよ!
たまってるんだろ?
いつも上から目線です
どっちが上かわからせてやるからよ』

『何言ってるの...
親に向かって...!』

『健……いい子だからお母さんの言うことを聞いてちょうだいね?』

ハア~~~~

『うるせえよばーかあ
俺はあんたの奴隷じゃねえんだ
セックスさせるか
父さんに見てもらうか選べよ』
もう我慢はしねえ

『わかったわ……いうこと聞くから……』

一発抜けば自分の過ちに気づくでしょう……



『母さんへつたクソだなあ……
そんなんじや全然気持ちよくねえよ
もつとタコみたいに口伸ばして
恥ずかしさ開放してやれよ！父さんに見られたくないんでしょ？』

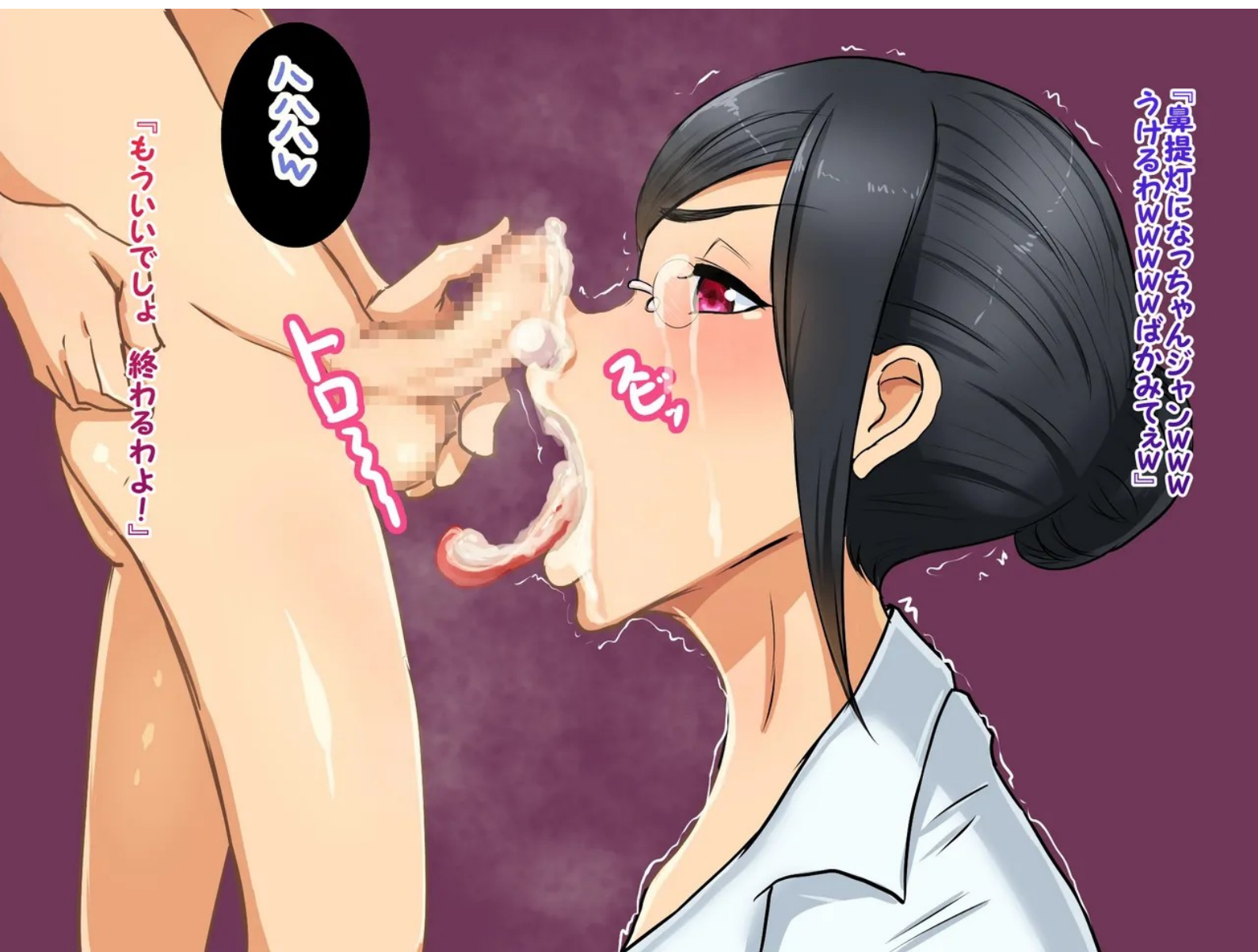
『いいね やれば出来んじゃん
ほめてやるよ 母さんは俺の子と全然ほめてくれないけど
俺は大人だからな！
あゝもうそろそろ出るから 息子の精子ありがたく
全部食べろよ！』



『おりあああああー!』

じゅるるるる





『鼻提灯になっちゃんジャンWWW
うけるわWWWWWWばかりみてえW』

ぽん

トロ

へへへ

『もういいじゃない 終わるわよ!』

『何主導権握ろうとしてんだよ！
まだ自分の立場わかってねえんだな
セックスするって言ってるんだろ
ぜってえ俺のメスフタにしてやつからな！』

『うわあつきたねーパンツWWW
お前俺より不潔じゃねーかWWW
散々上から語ってよお！』

『なんでそんな乱暴な言葉使うのよ
いつからそんな子になっちゃったの』

おーおーおー

『うるせえ！』

いつも仕事しててまともに子育てしてないくせに
がみがみ怒るだけ怒って子育てした気になってるんじゃないよ
俺がこんな風になったのは お前の責任なんだよお！』

『ダメよー入れるのは絶対ダメ!』

『しつけない淫乱くそ野郎!
お前に発言権はねーんだよ
絶対マンコの中に精子出すからな!』



依

!!



『母さんどう？
気持ちいいでしょう？俺のちんぽ』

『そんなわけないでしょ
あなたなんかで感じないわ』

『マンコこんなにびちゃびちゃにさせてさ…
そんなの嘘に決まってるんだよなあ…
普段から嘘つくとか俺に怒ってるくせに
自分は嘘つくんだから
ほおんとくそばばあだなあつて思うよ』

あ…

あ…



『もう一度と逆らえないくらい
中にぶちまけるから
準備しろよ!』

チュ

チュッポ

『ダメ…駄目よ…健…』

パッ

パッ



「決別の舞！」

『ひいひいひいひいひいひい!』

『何が終わりなんだよ？
こんなもんでセックスが
終わるわけないだろ』

グ
ッ

グ
ッ
ッ
ッ
ッ



『やっ……』

ビーン

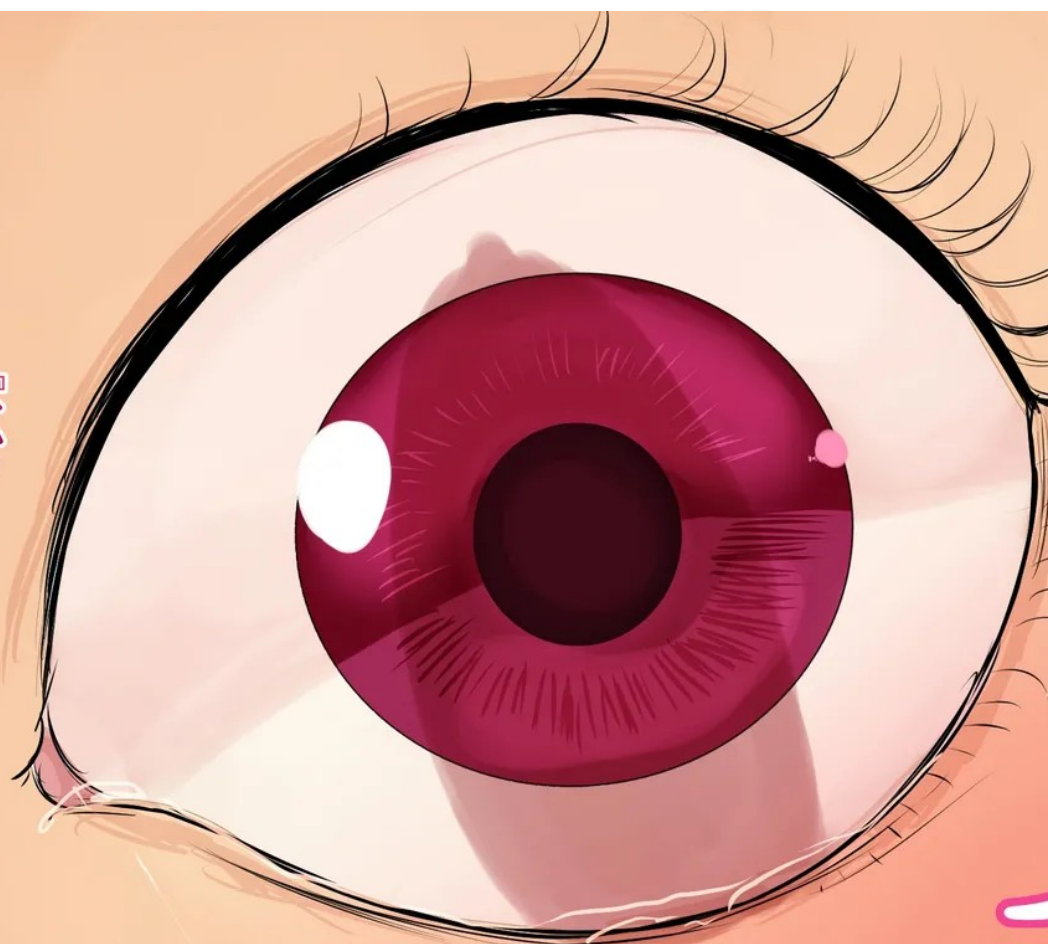
『ぶっ壊れるまで終わらないから!』

ビーン



『はらむ』って状態まで
やればいうこと聞くようになるんだってさ』

『ふ』



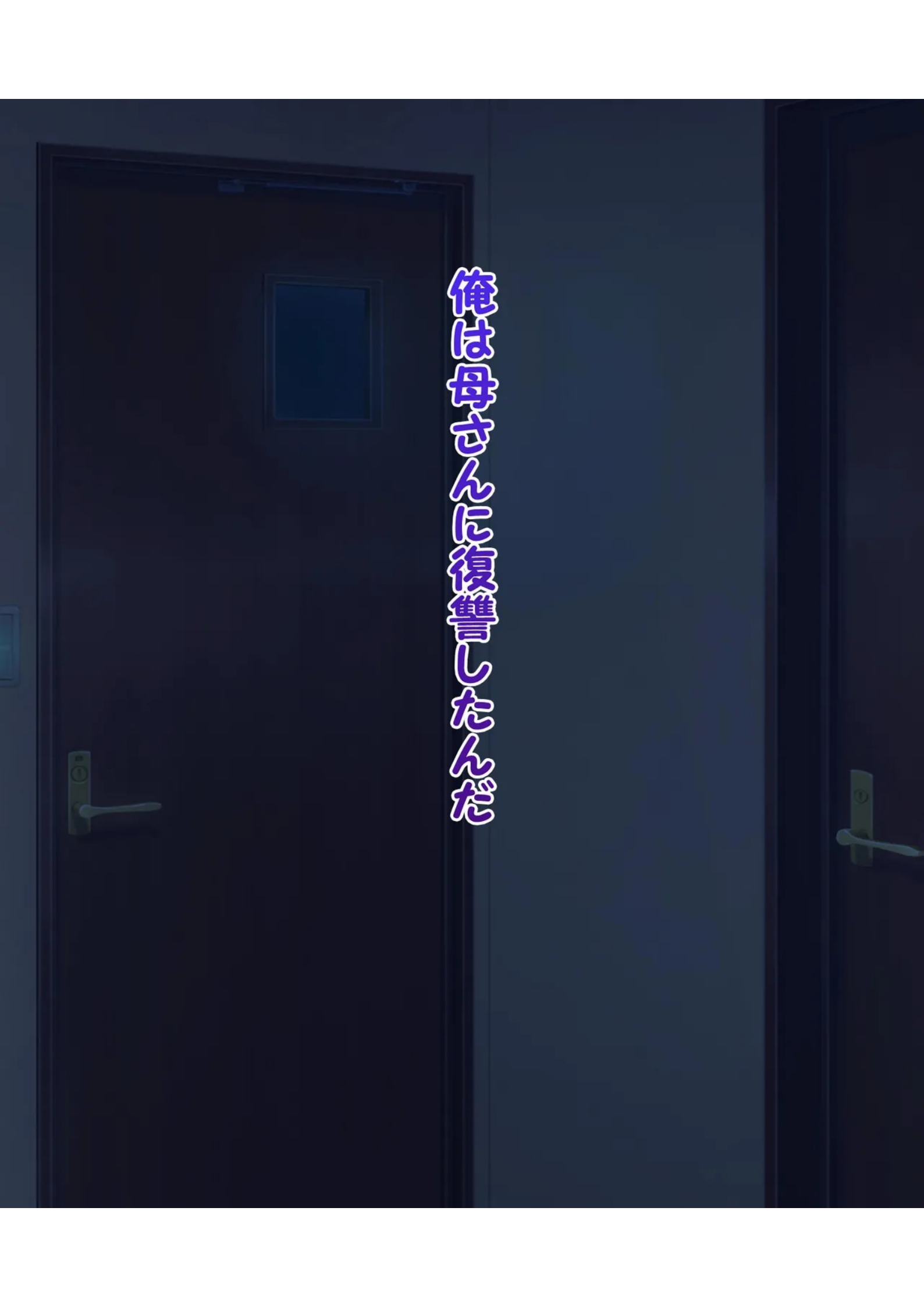
夜明け後



それから母さんとまともな会話は一つもなくなった
セックスも一回もしてない

俺たちの親子関係は終わったんだ



A dark blue door with a small square window and a silver handle. The door is slightly ajar, revealing a dark interior. The text is written vertically in the center of the door.

俺は母さんに復讐したんだ

『やったよーママー母さんに仕返ししてやったよー！
全部ママの言うとおりにしたら母さん
俺に二度と指図しなくなったよー』

『すごいわぁ！さすが健くんね！
もう一人前の男の人だわ！』

↑ポッ

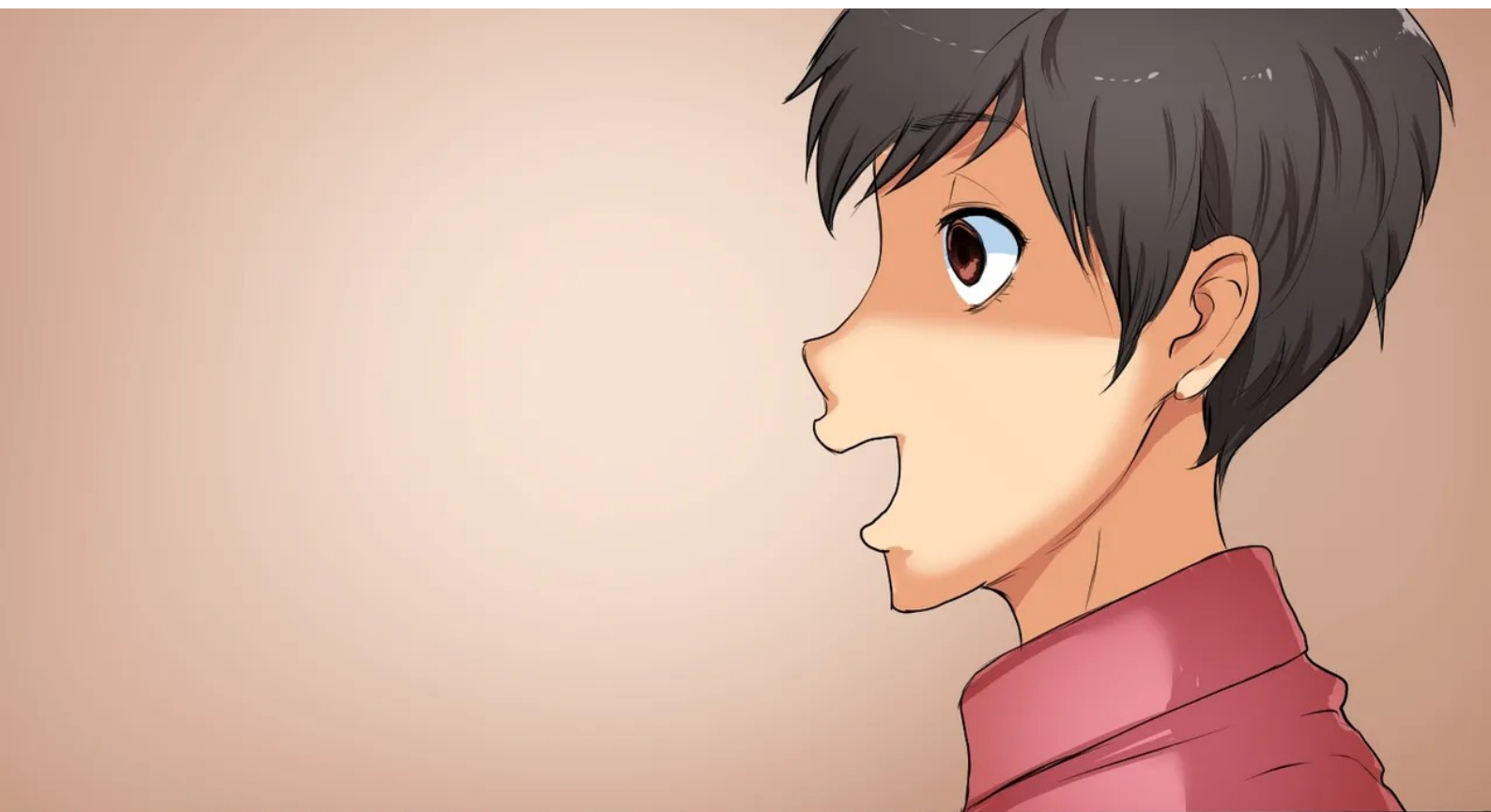
↑ポッ

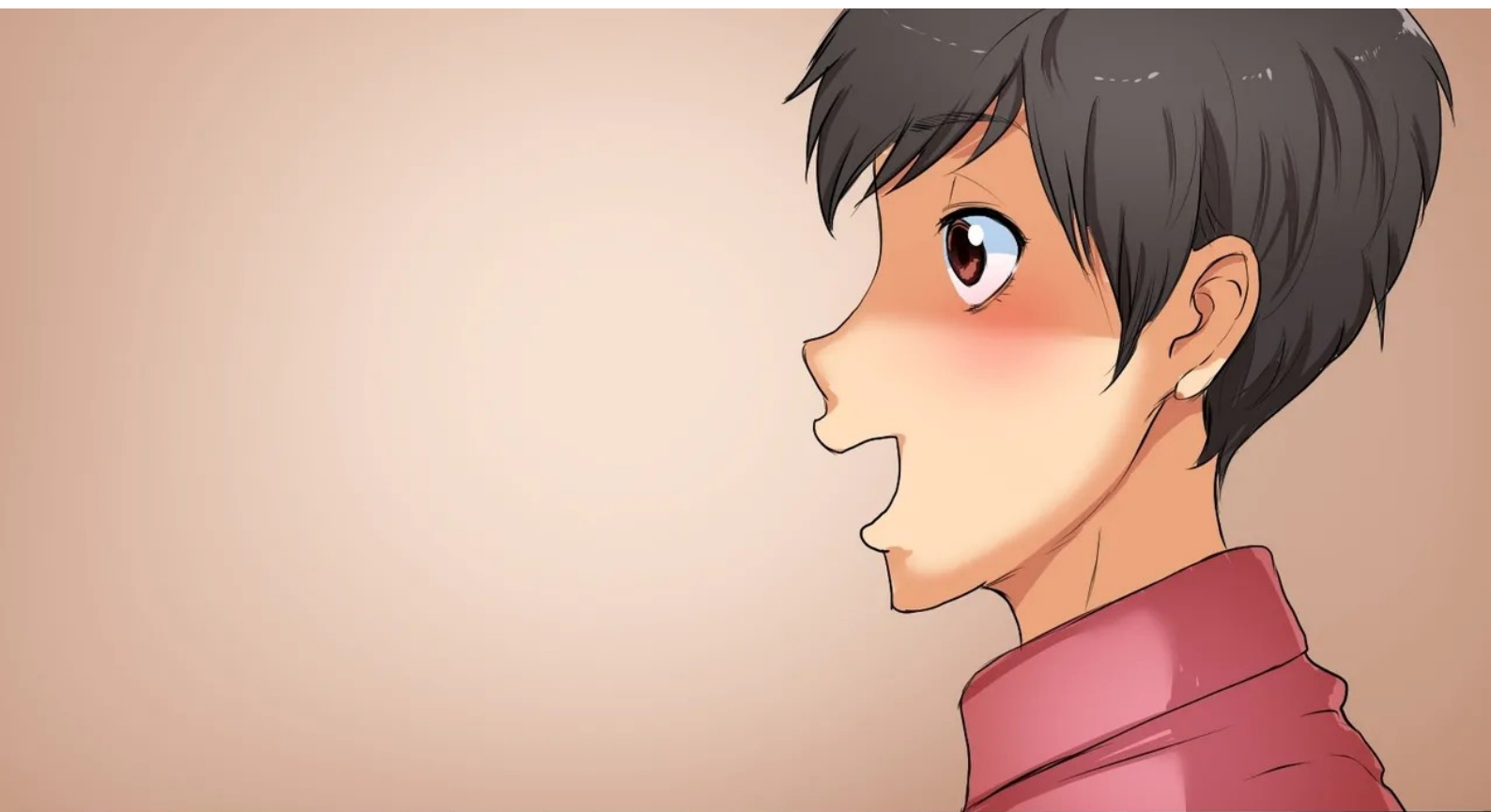
↑ポッ

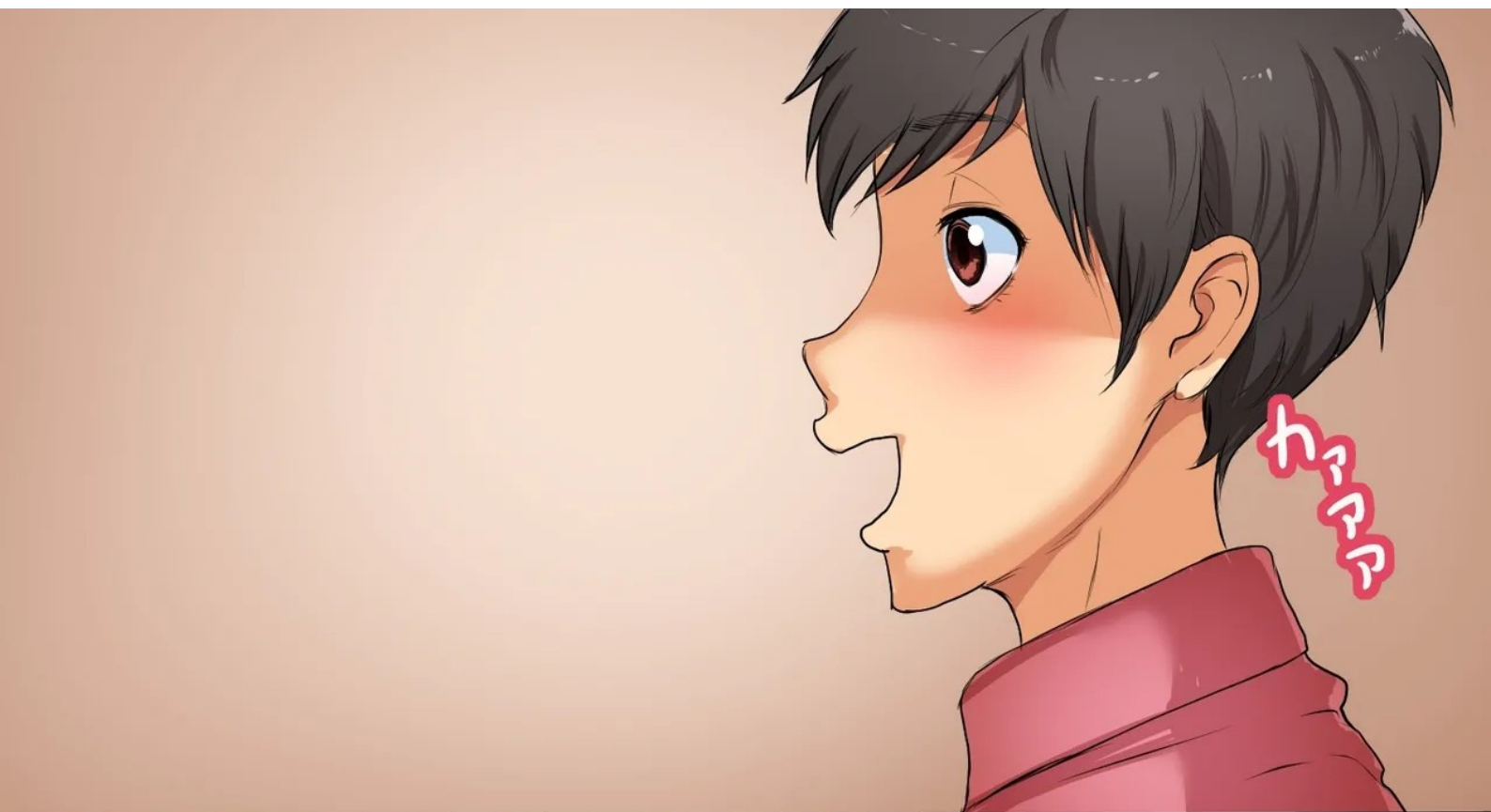
↑ポッ
FIN

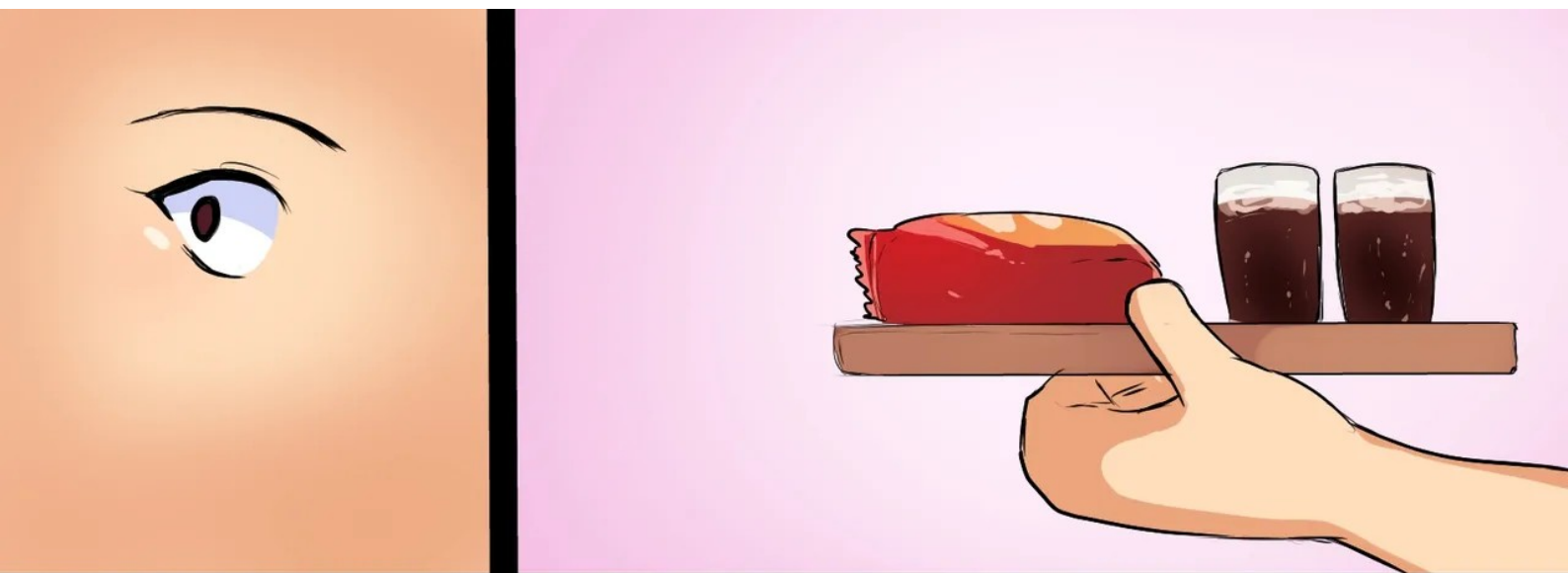


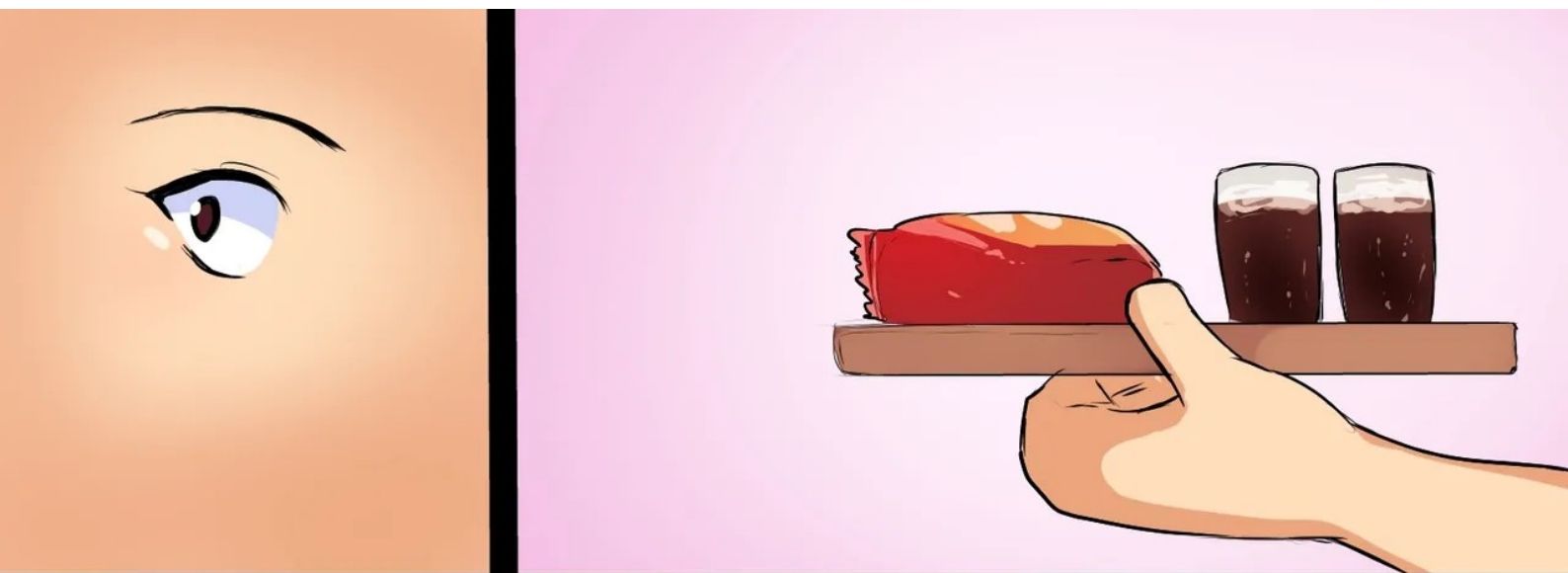


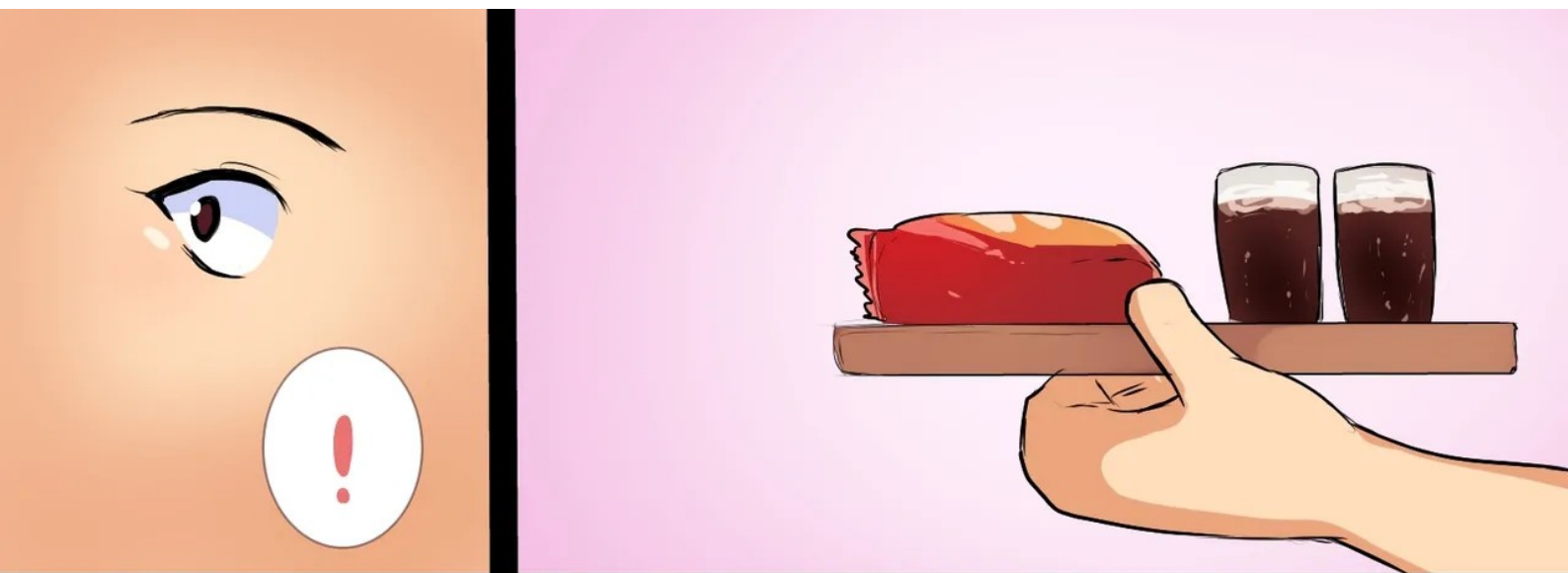








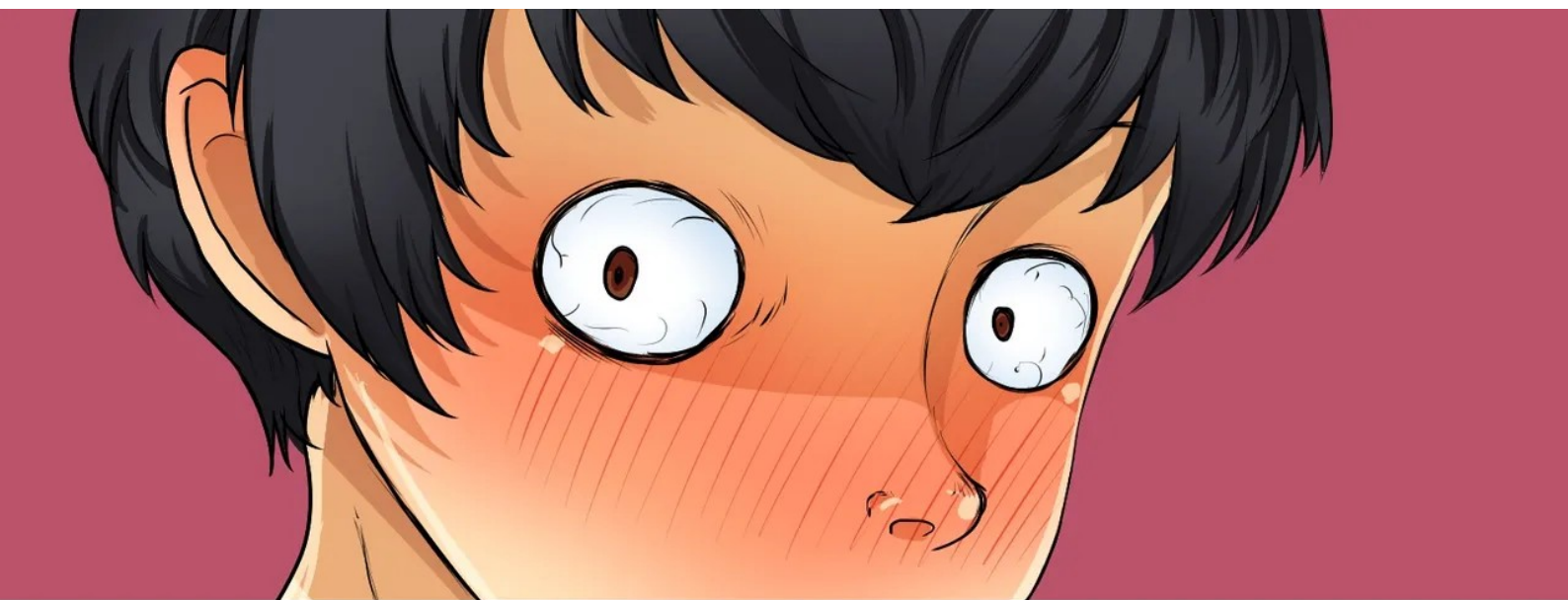












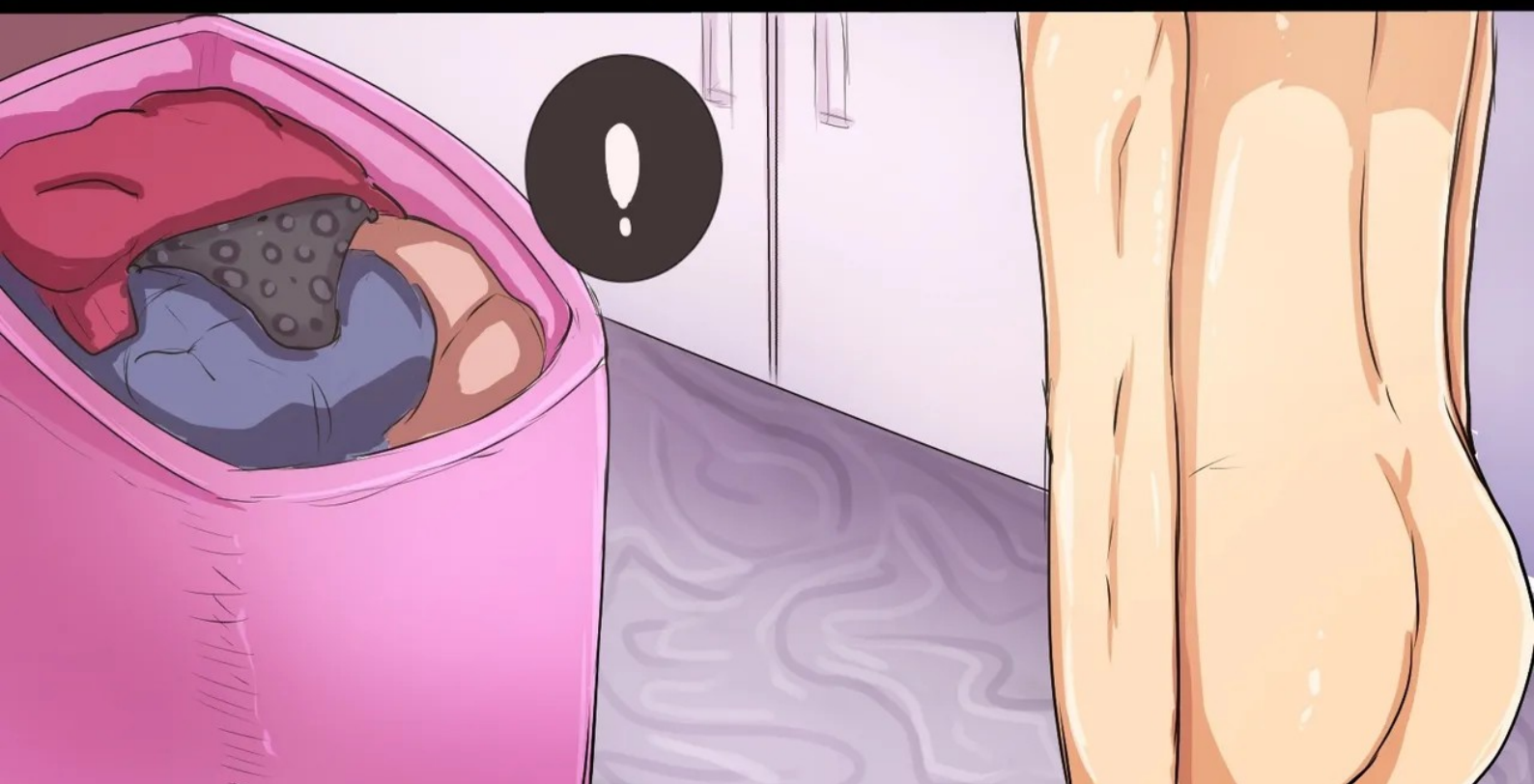


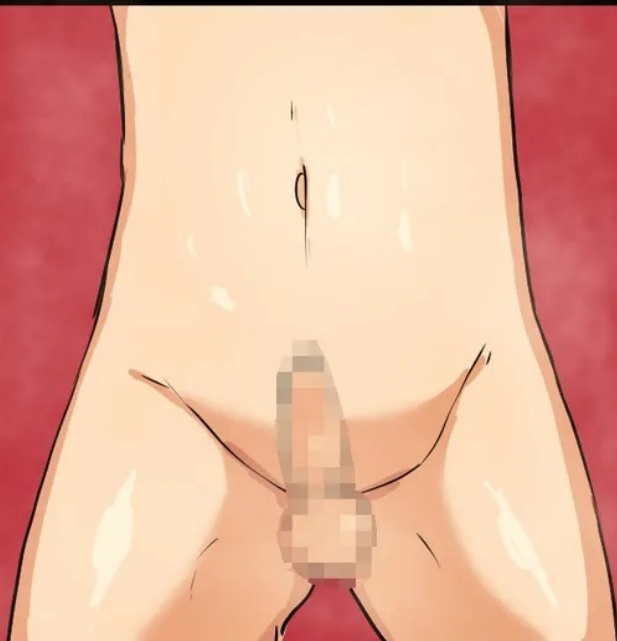




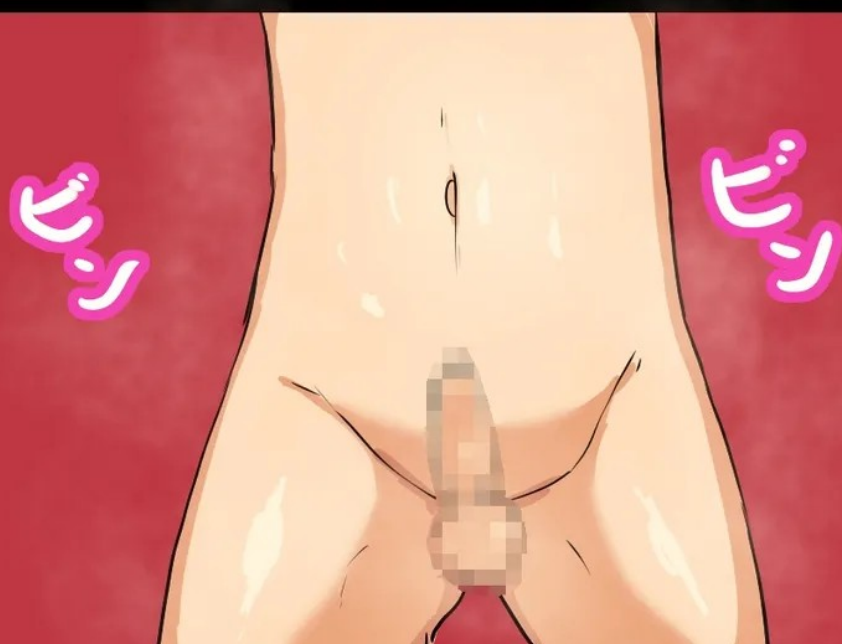
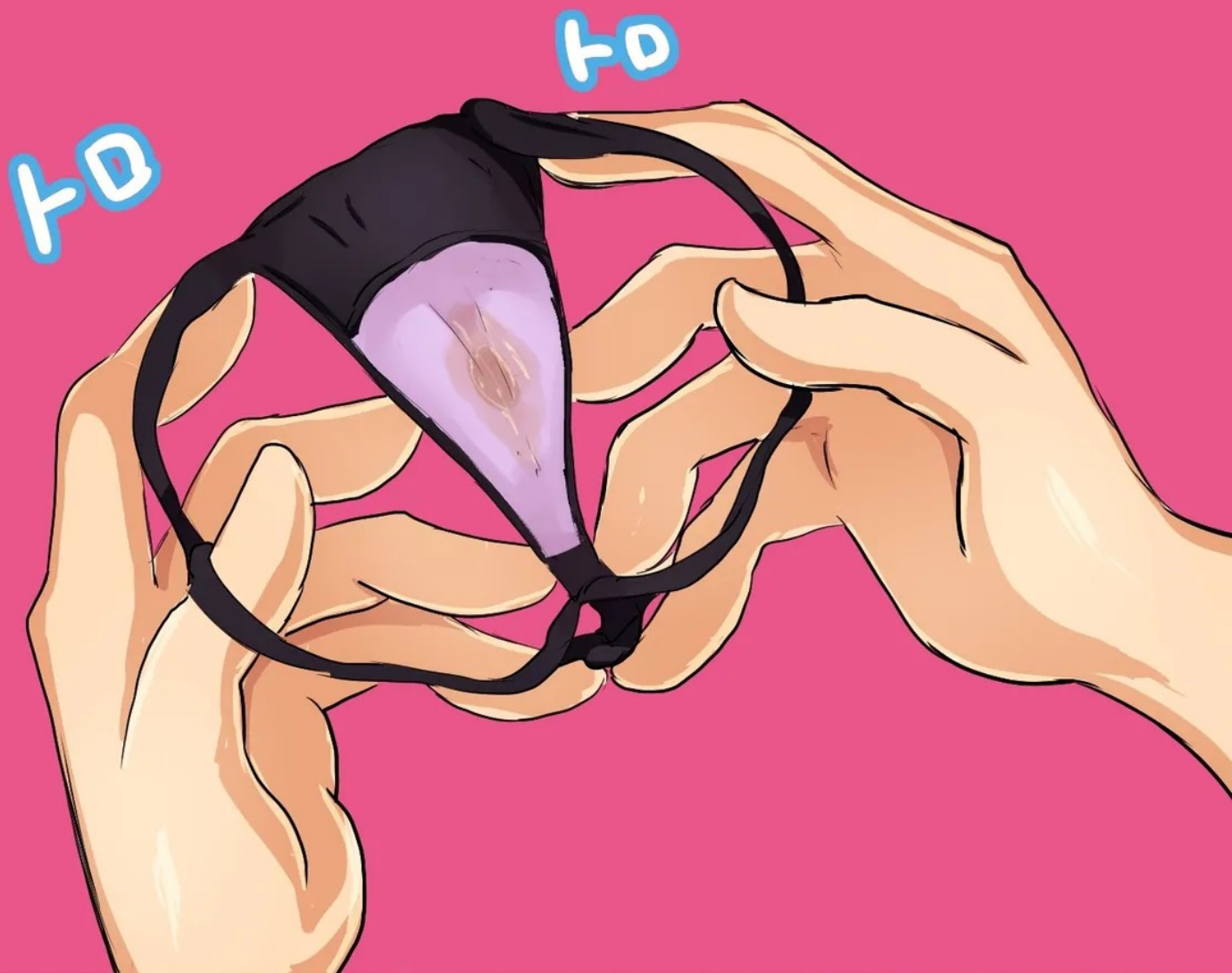






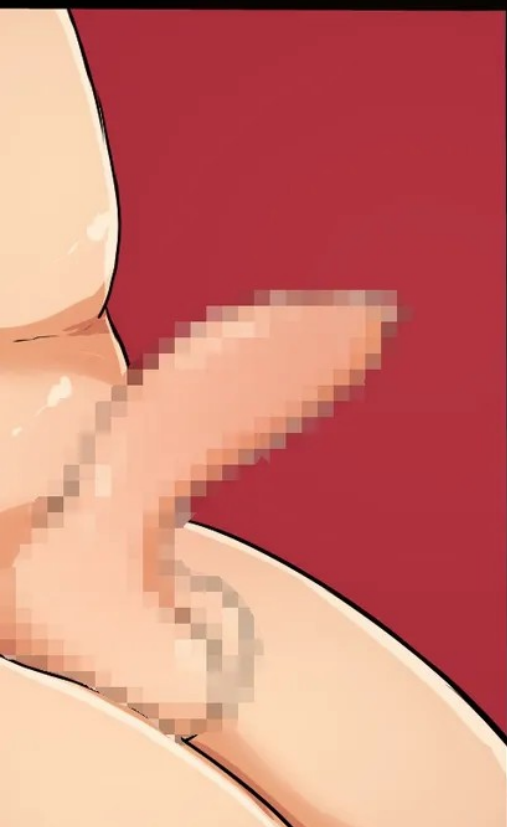
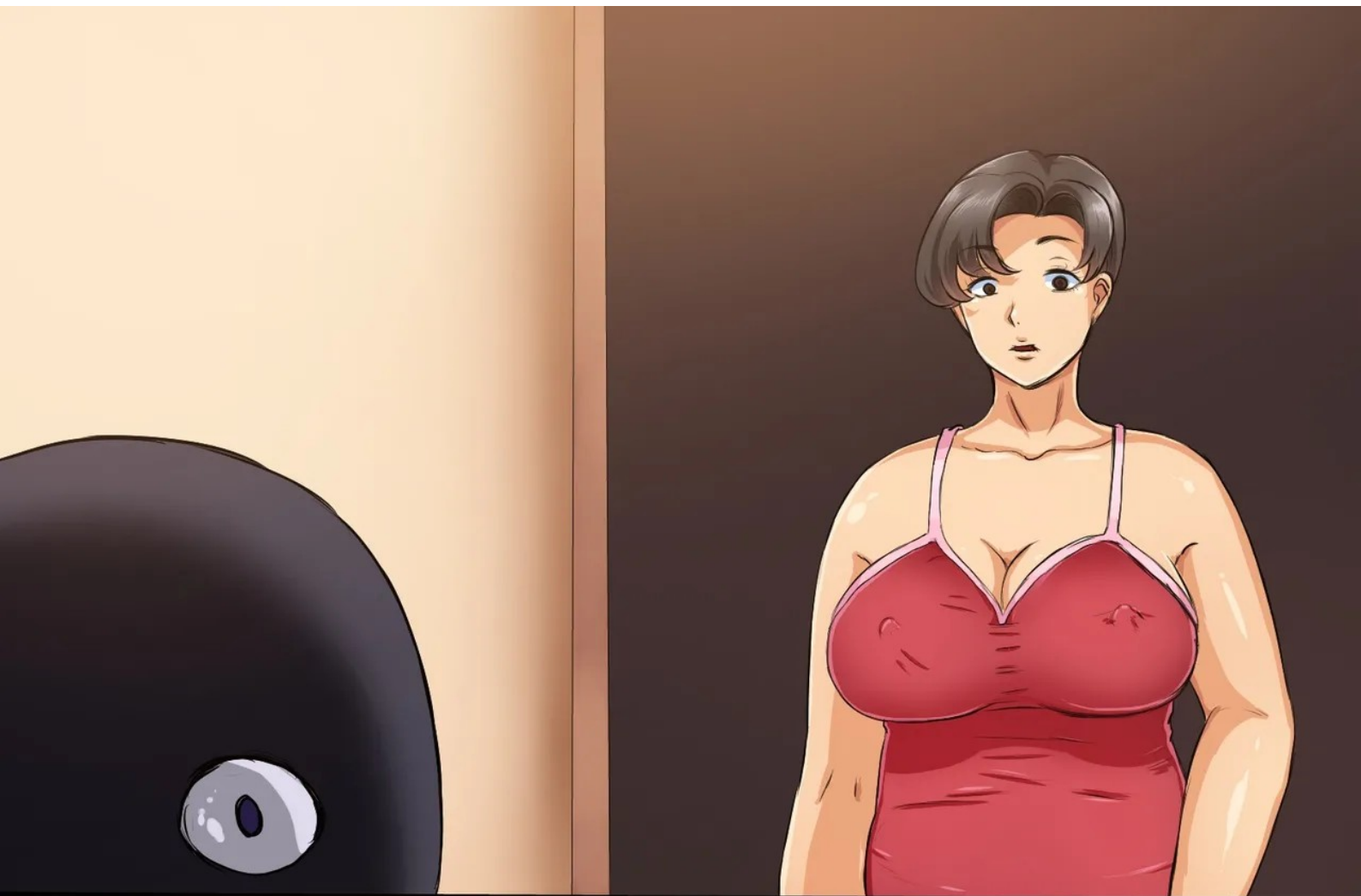


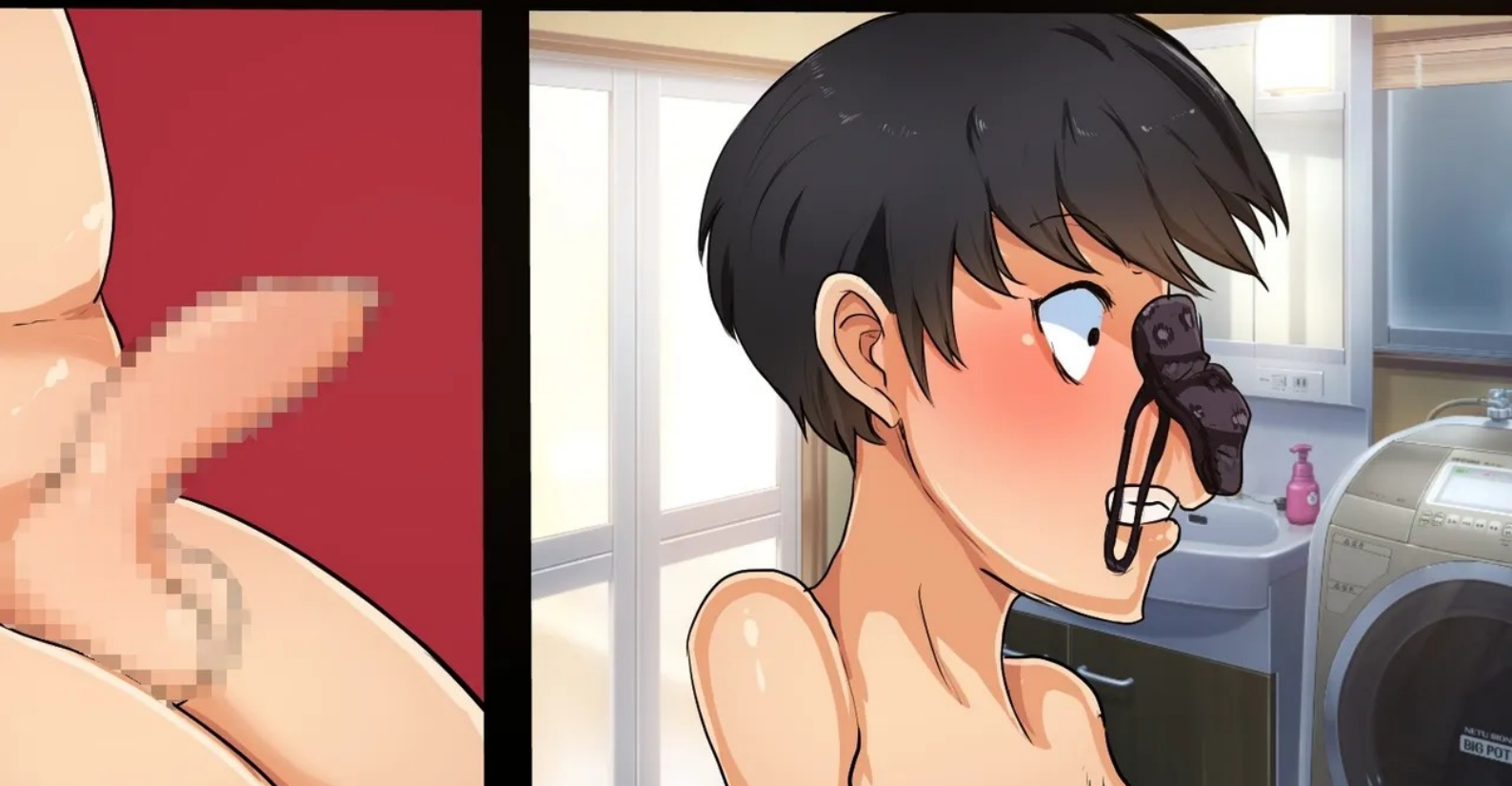
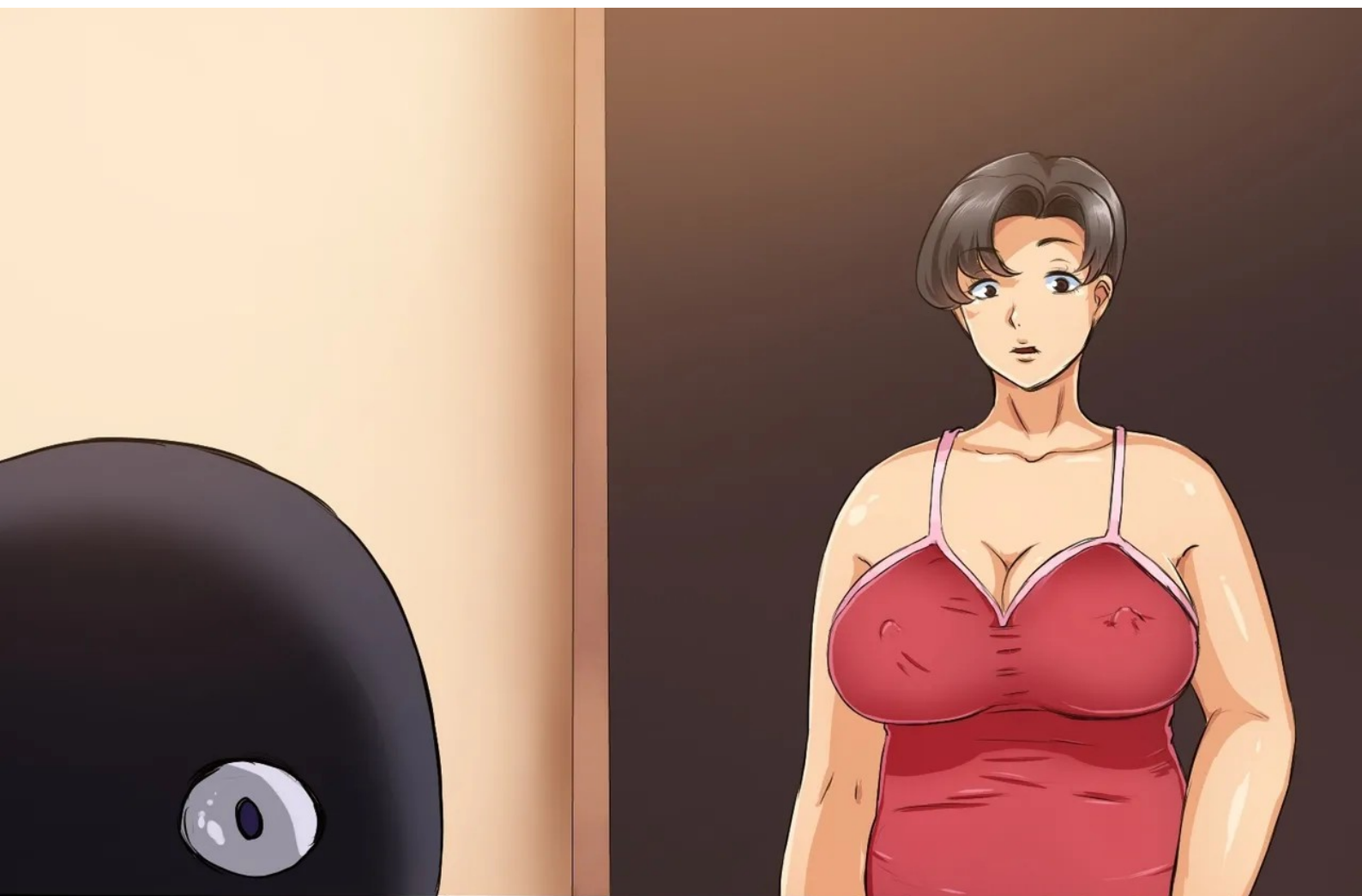


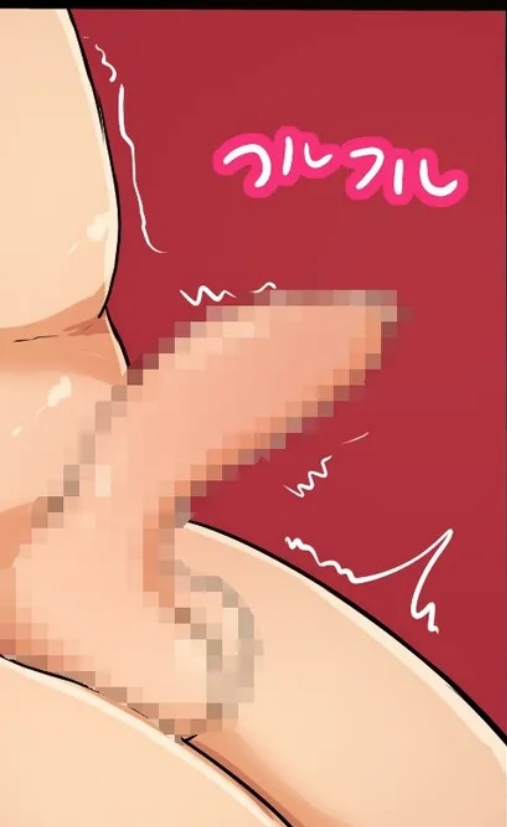


































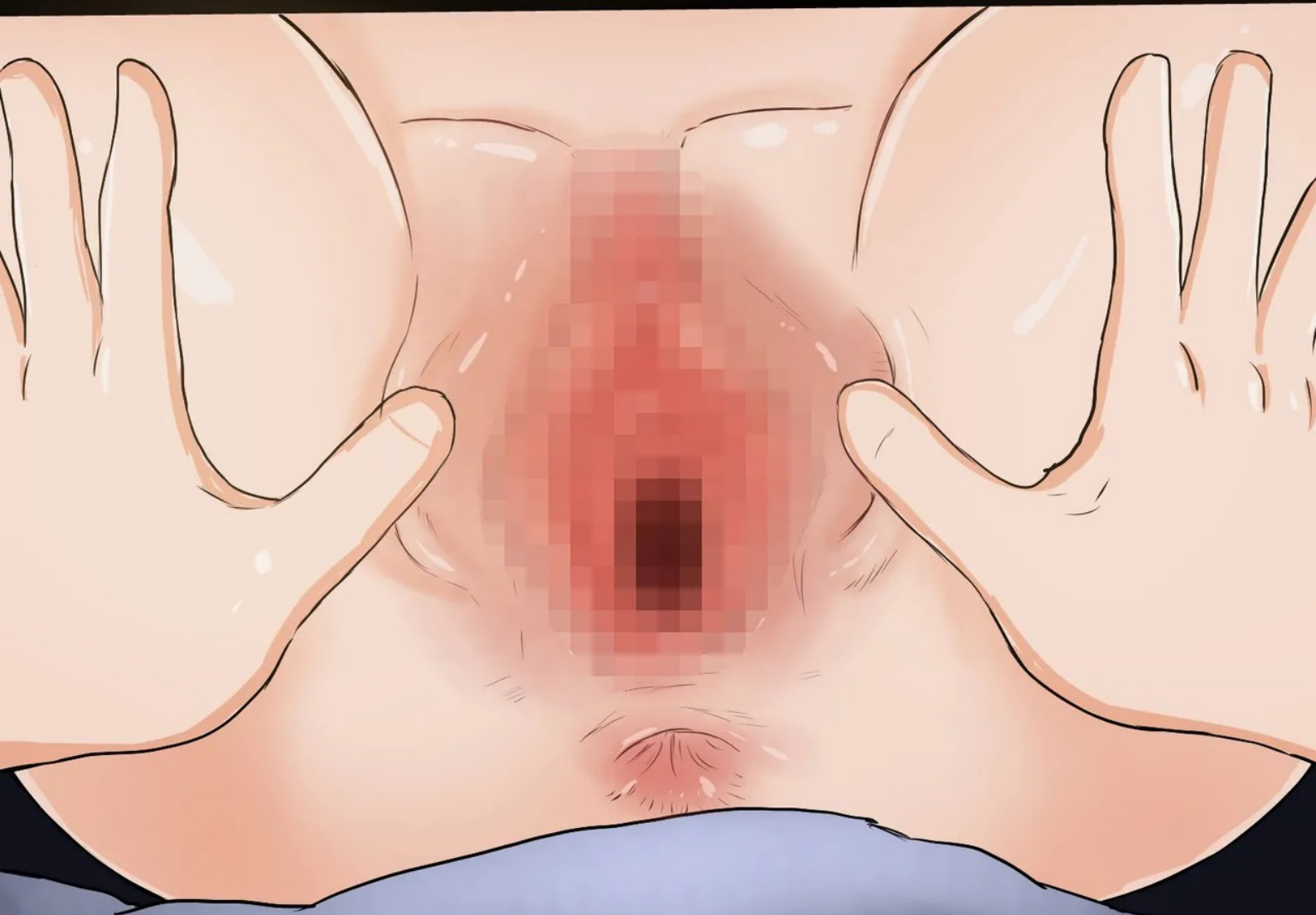


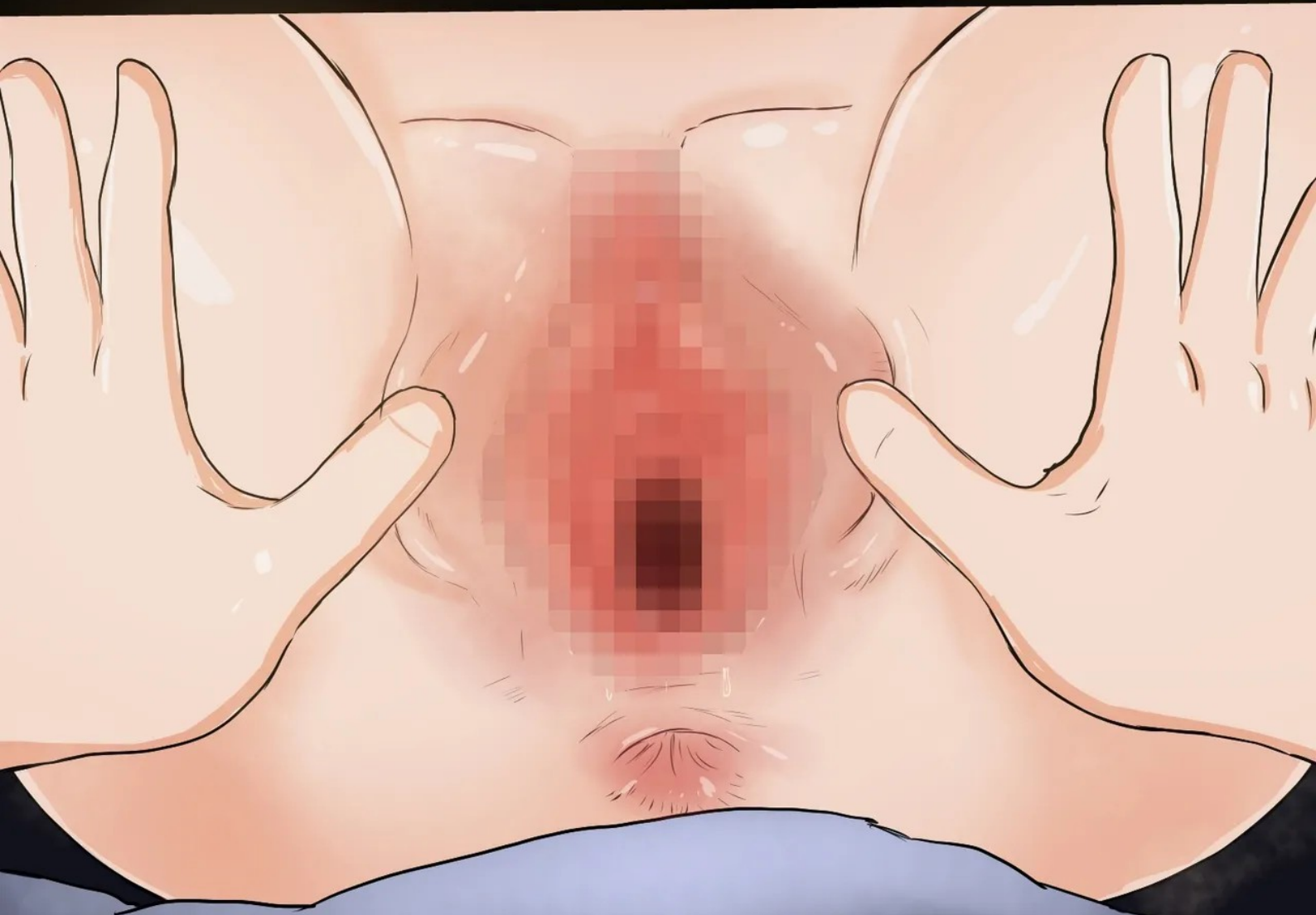
ニムアア

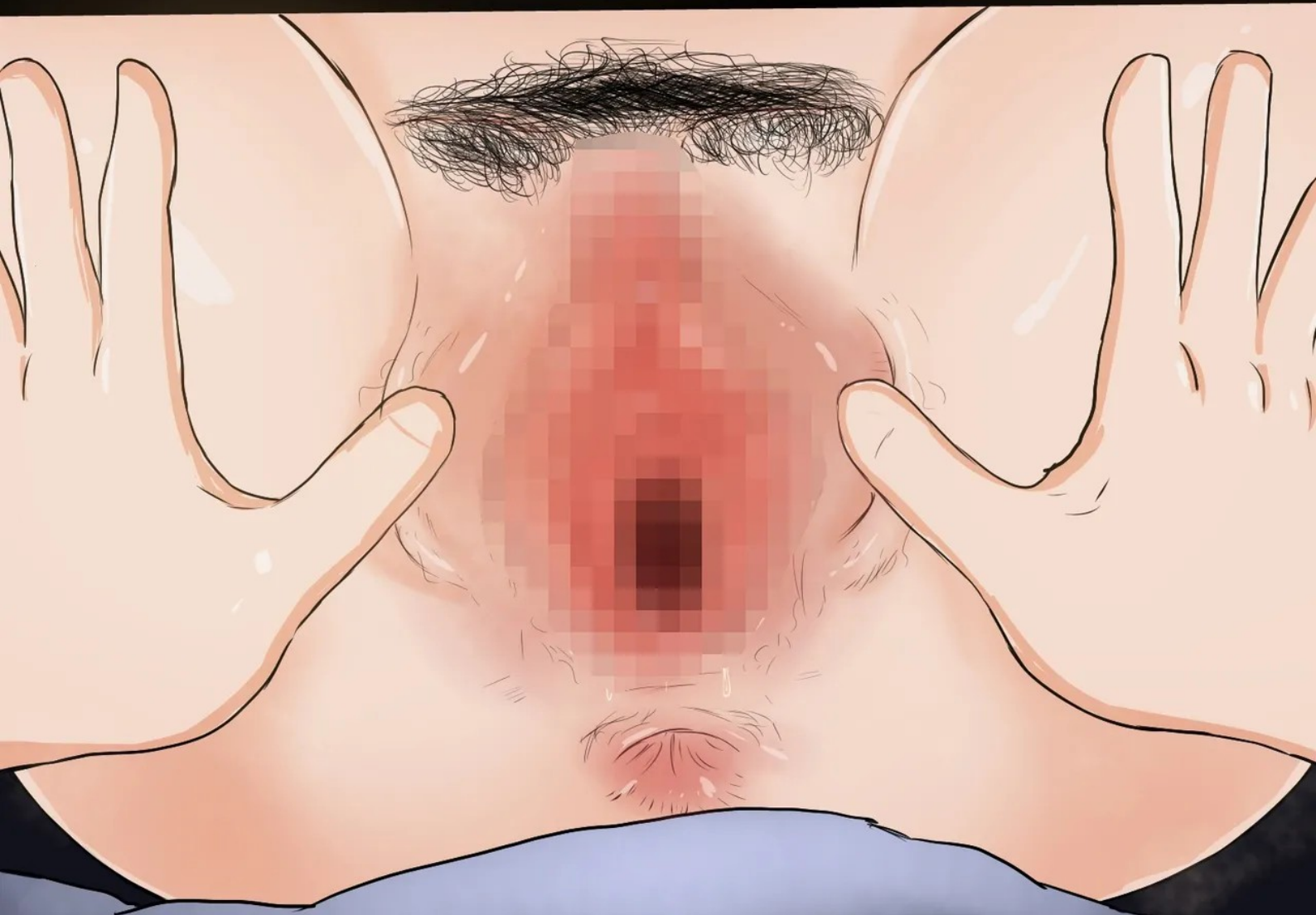




























































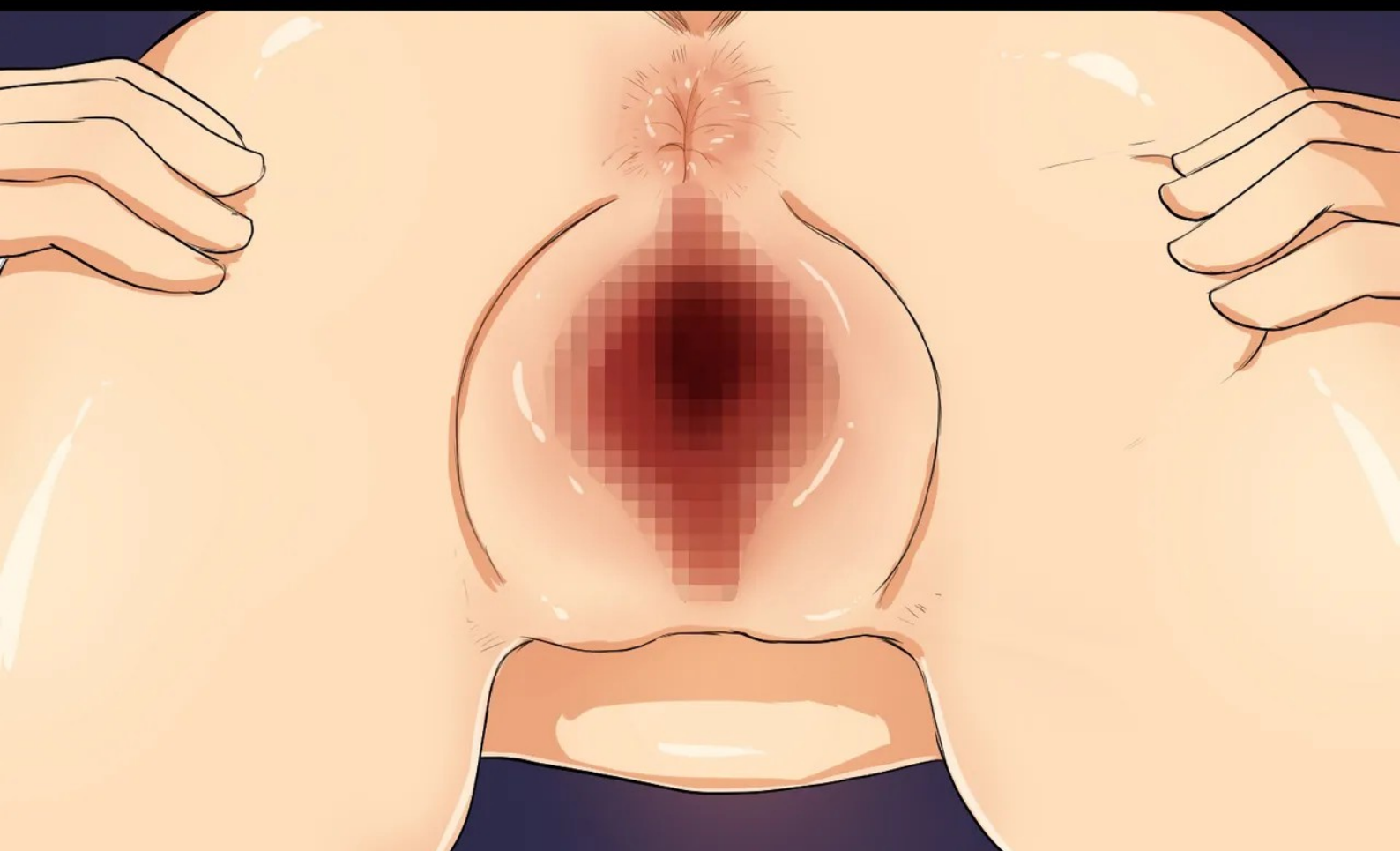


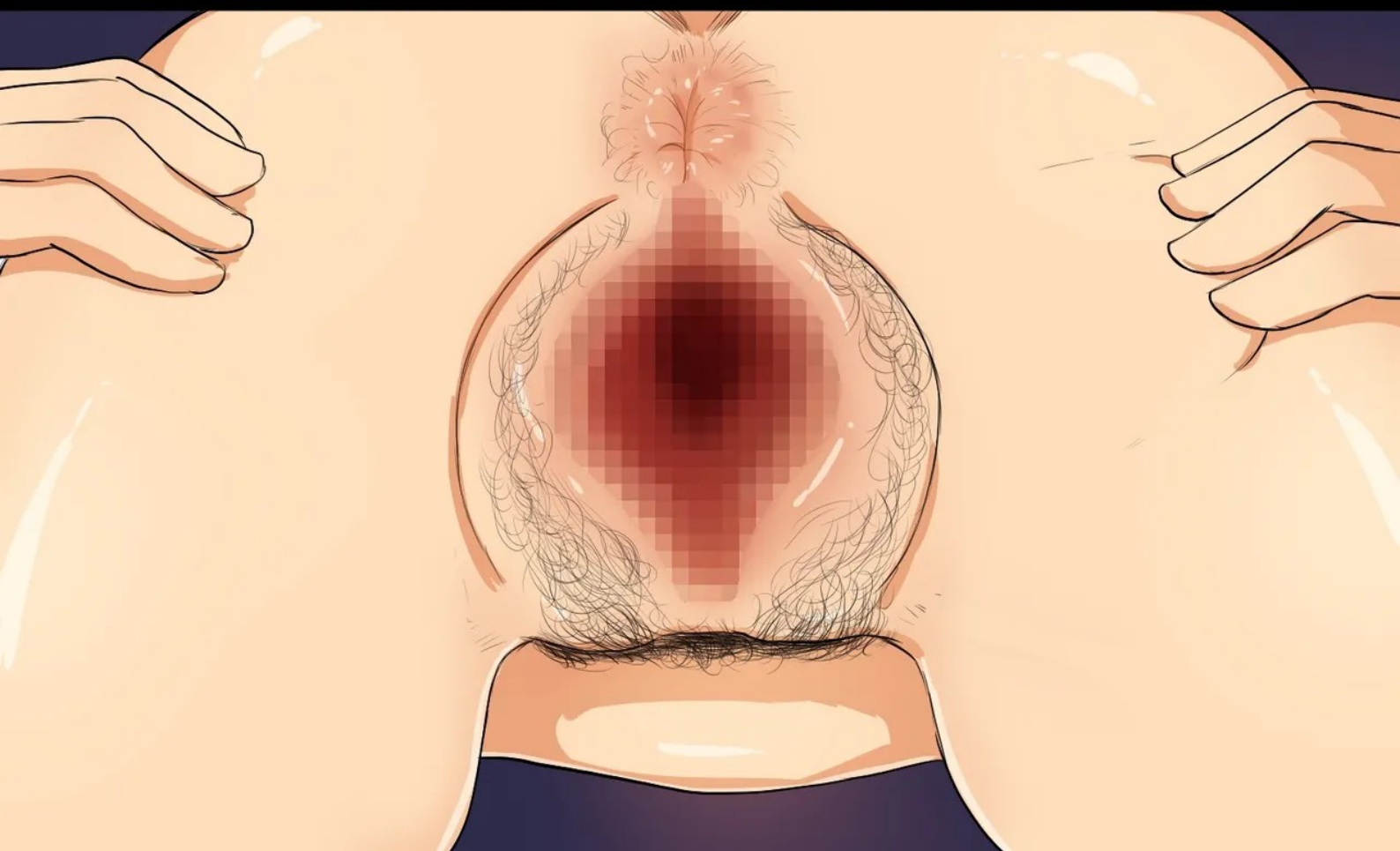


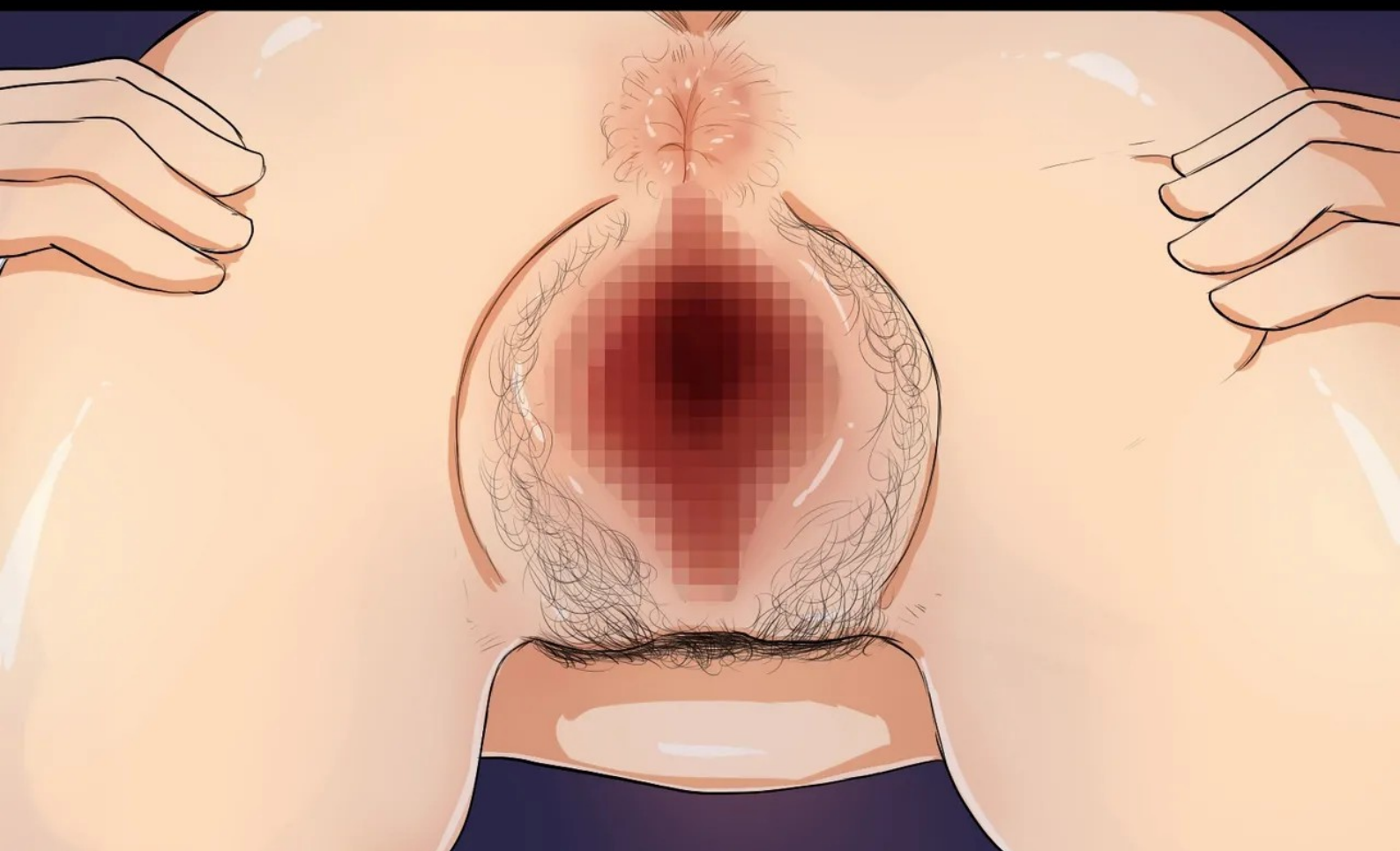


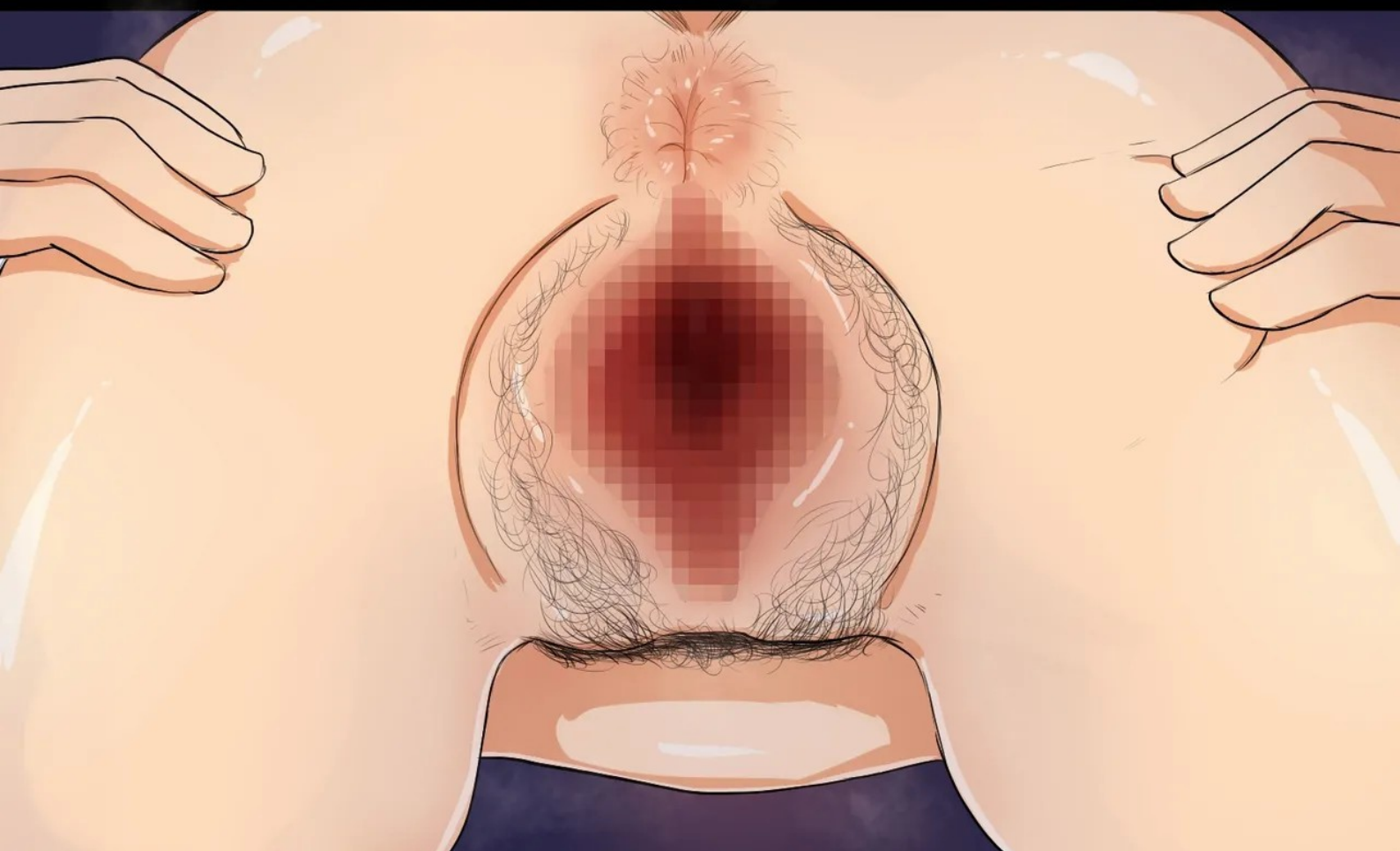


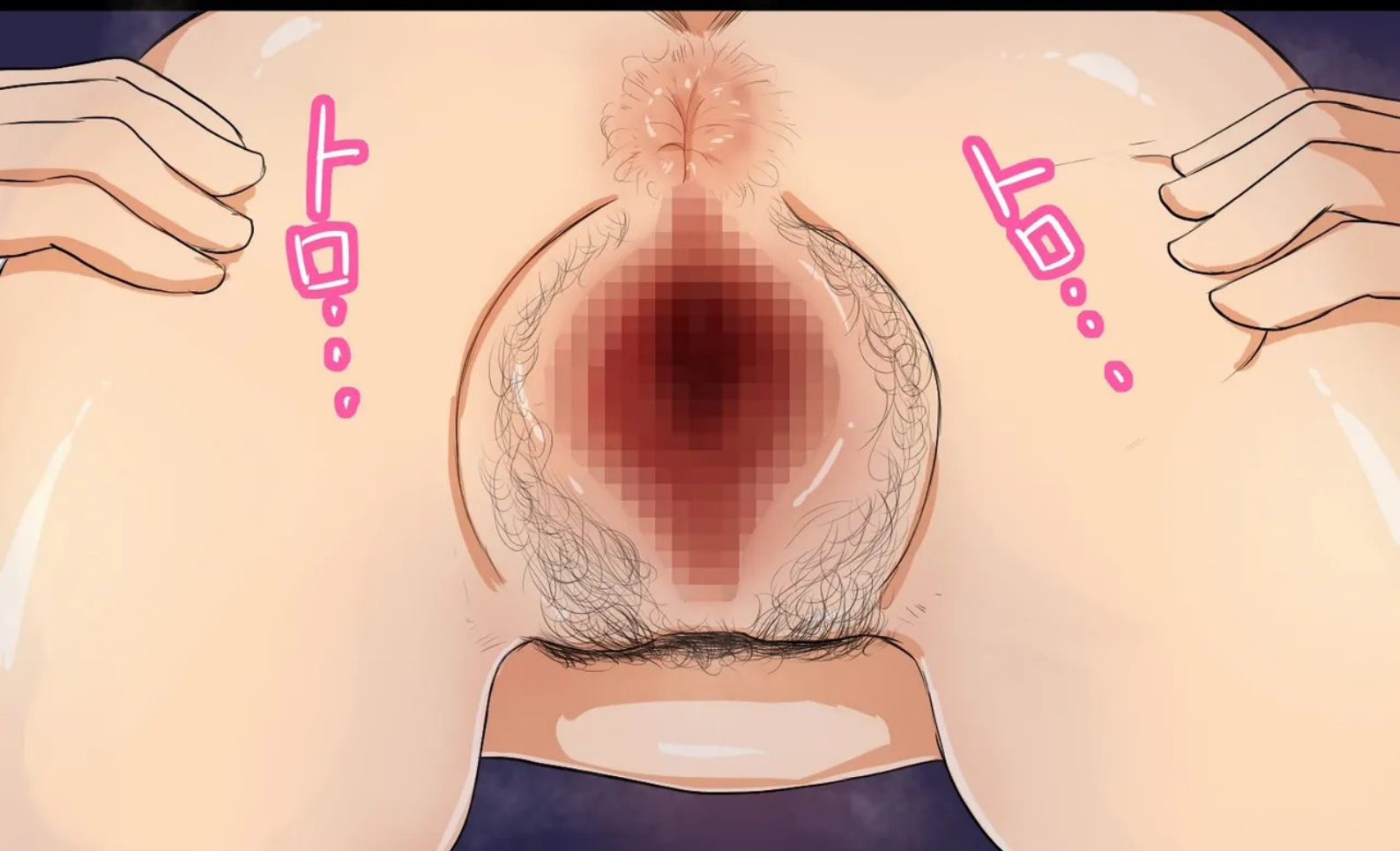


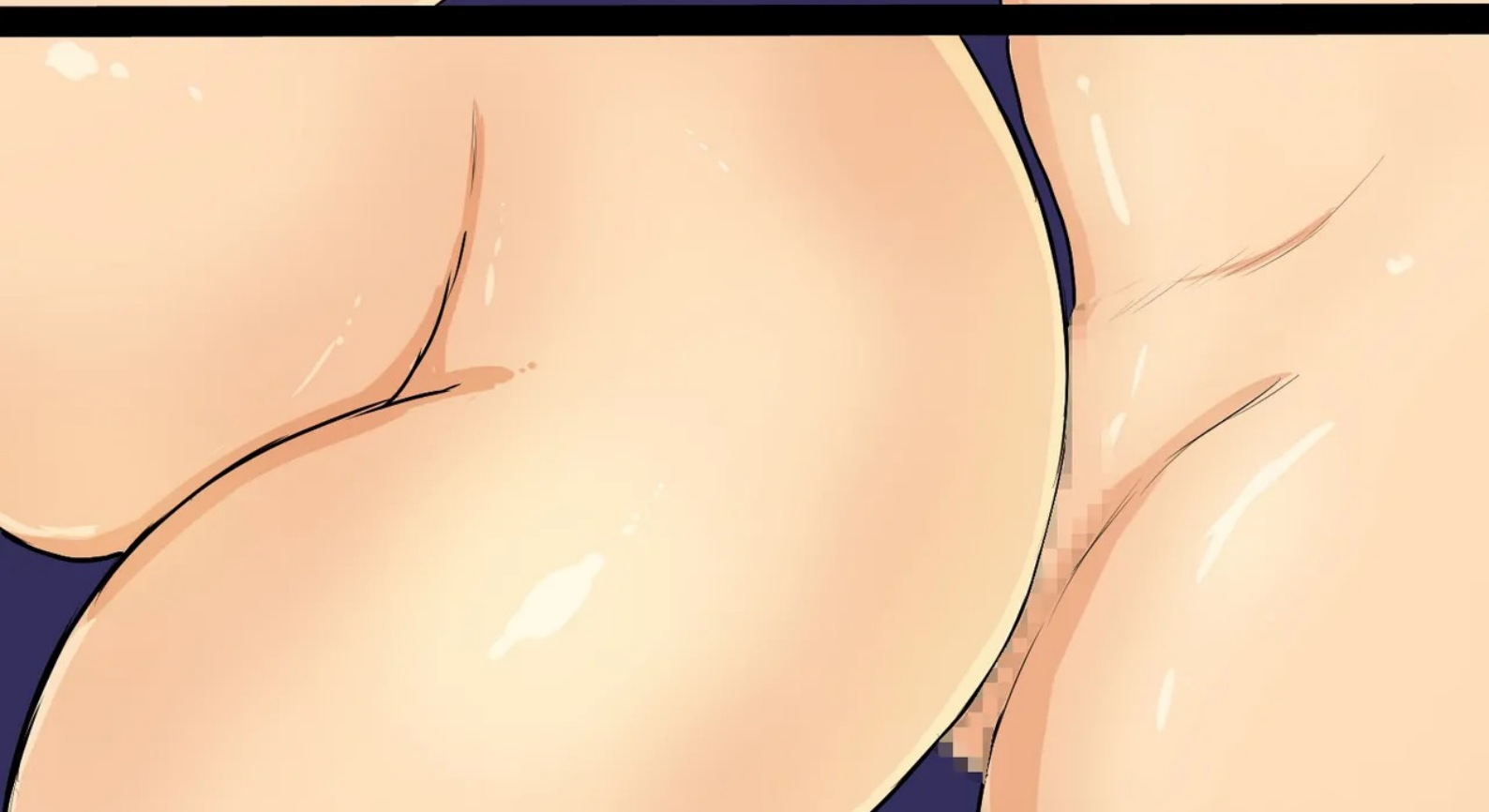
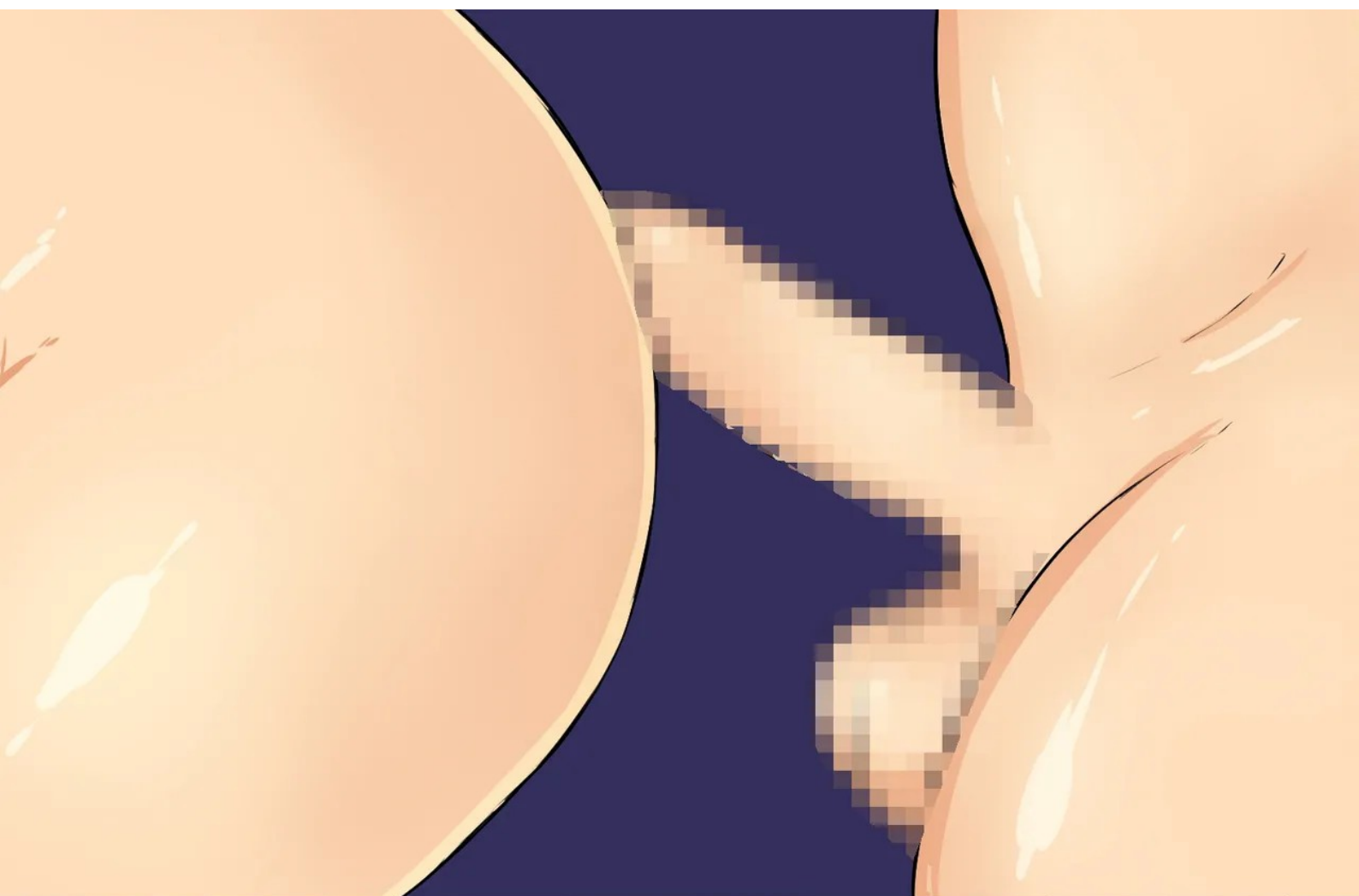


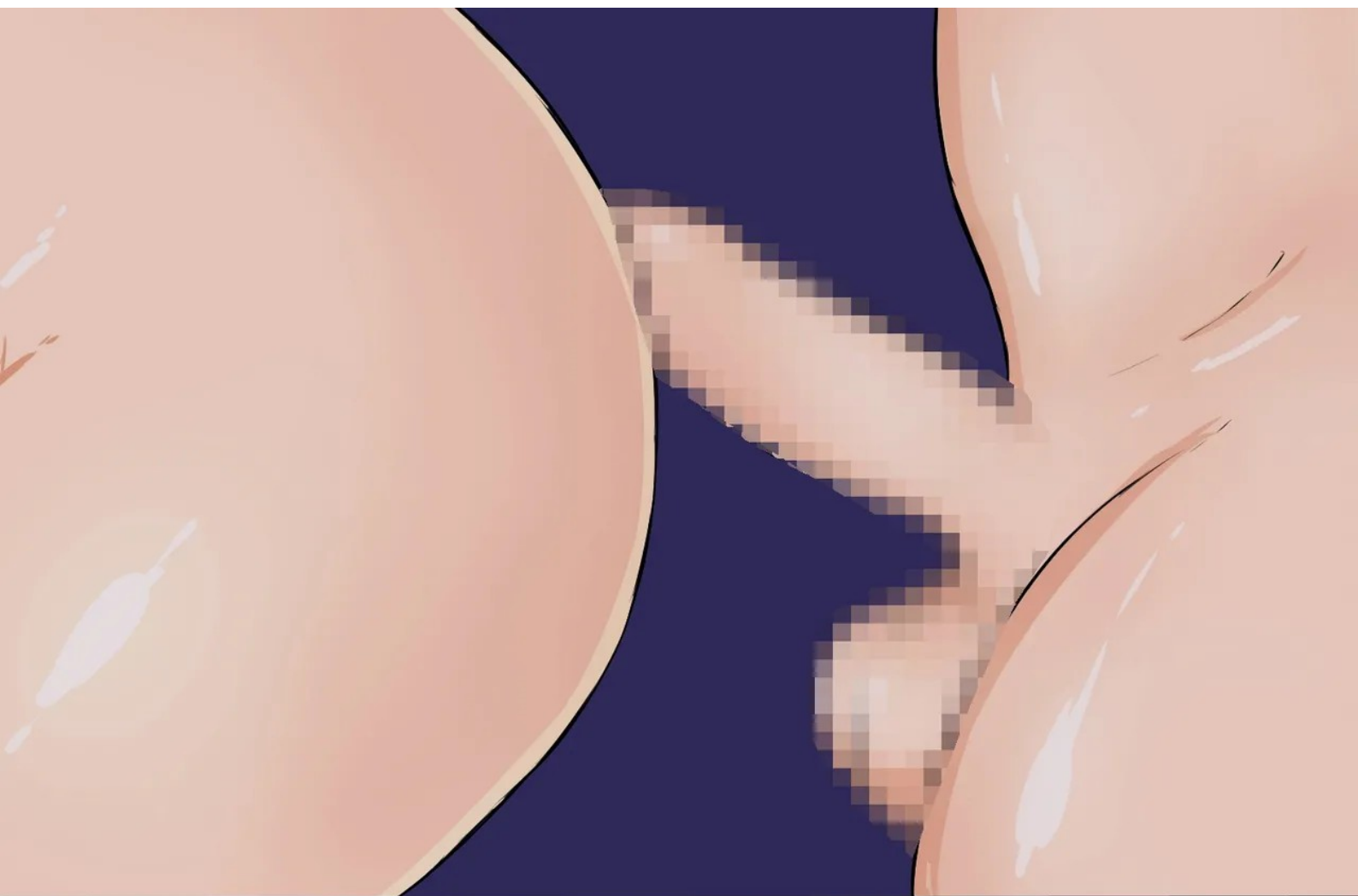


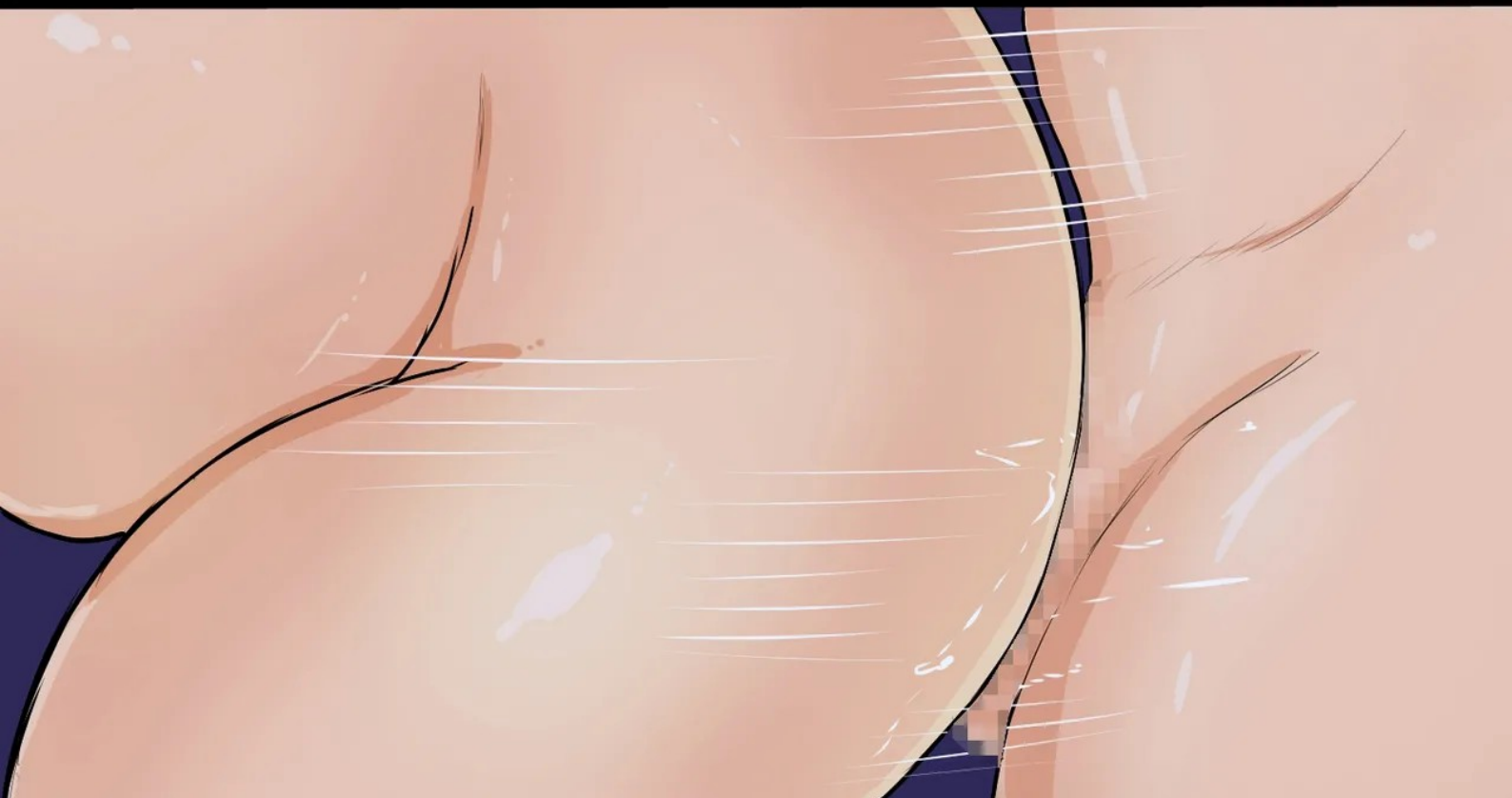
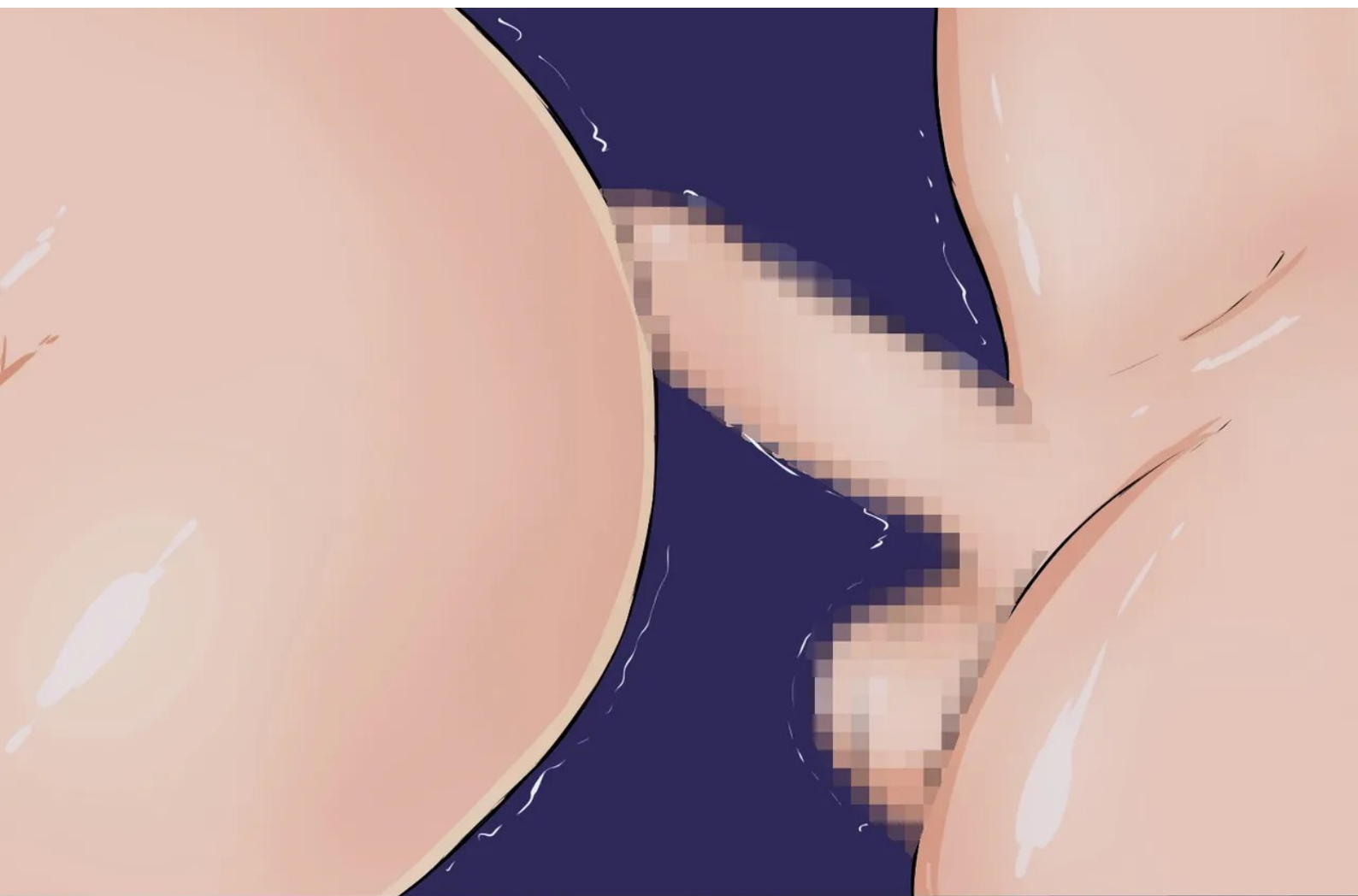


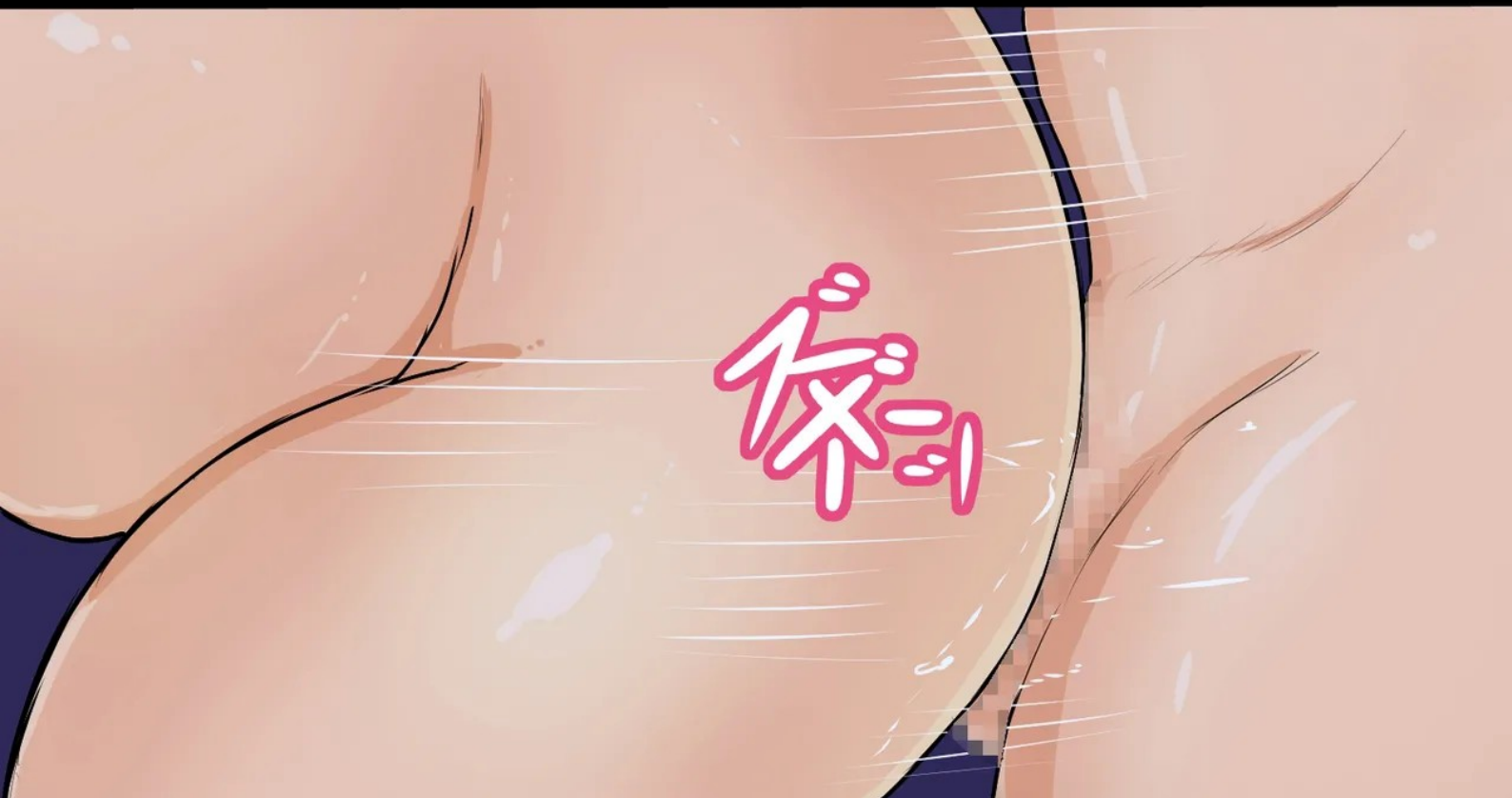
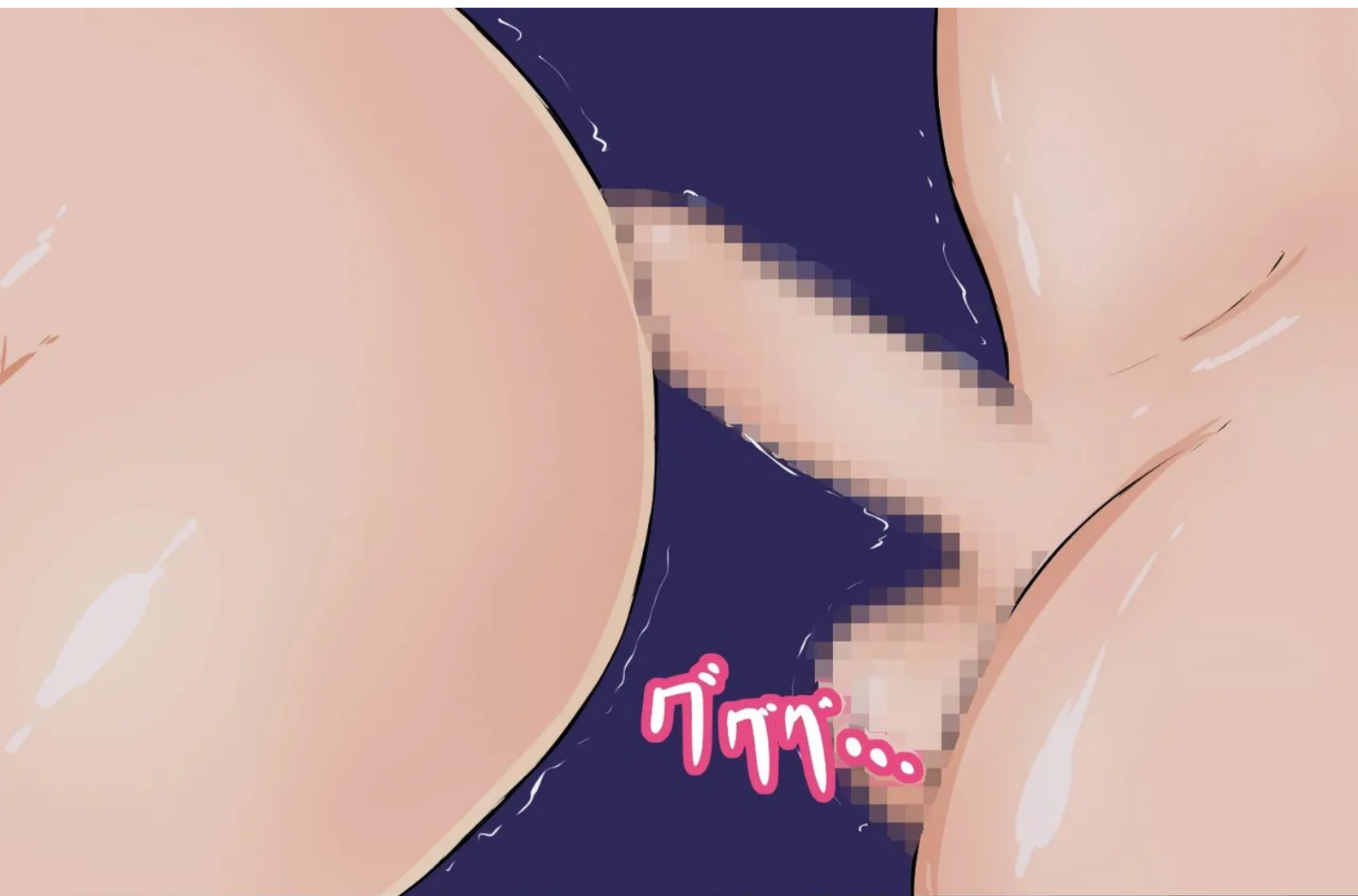
















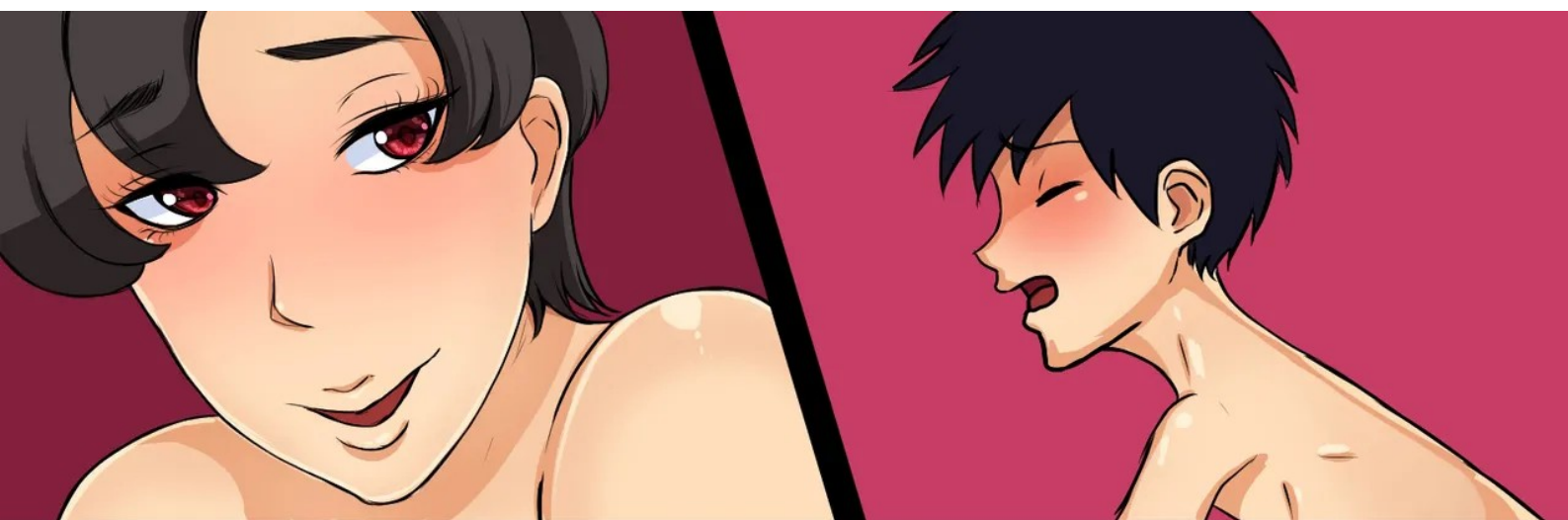


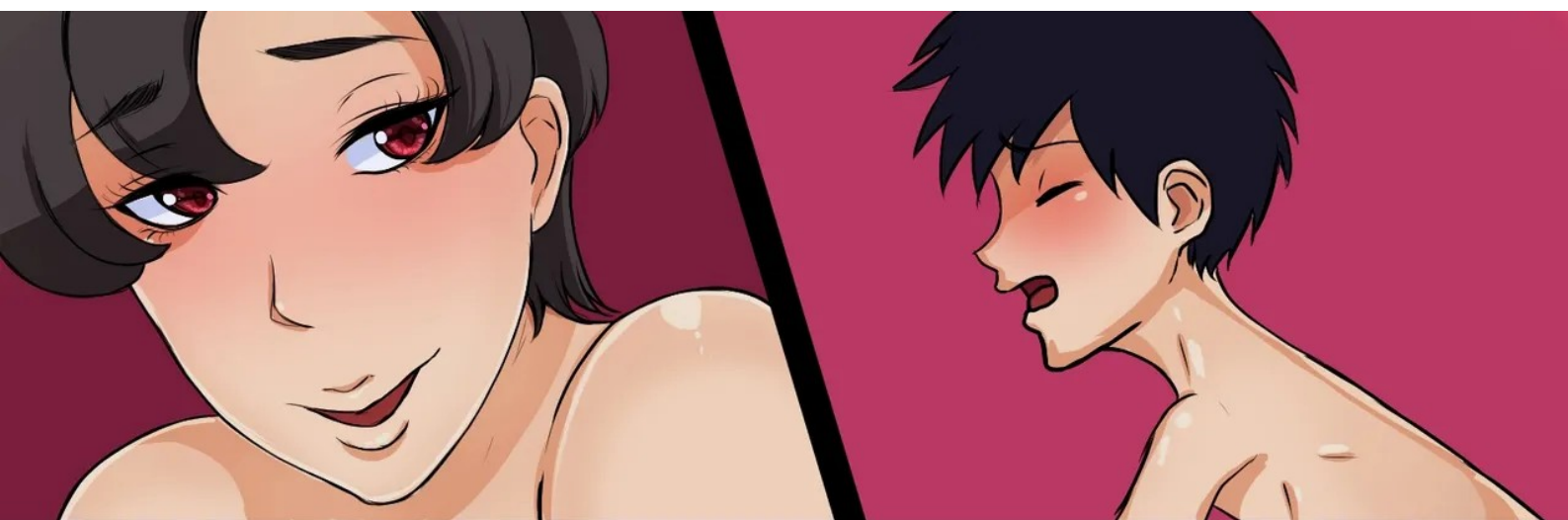


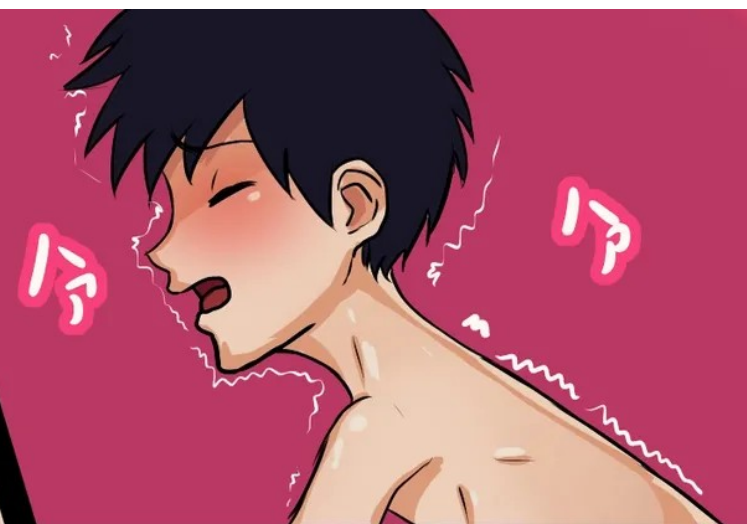
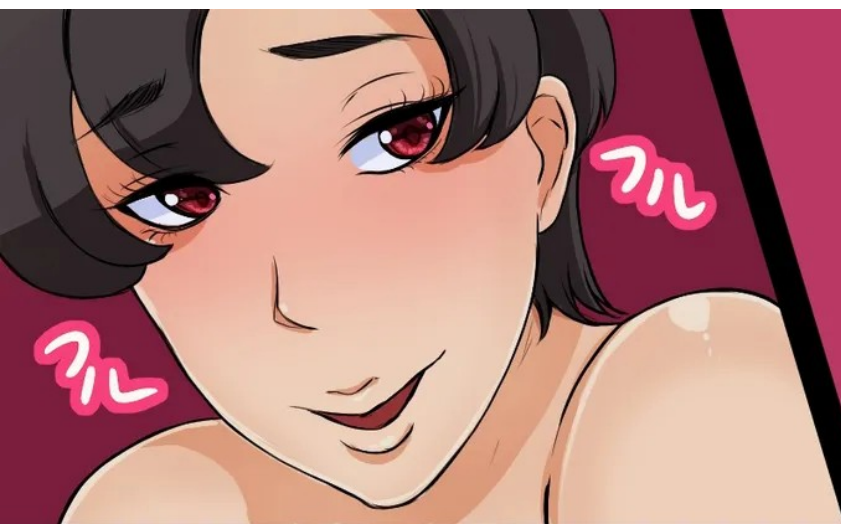


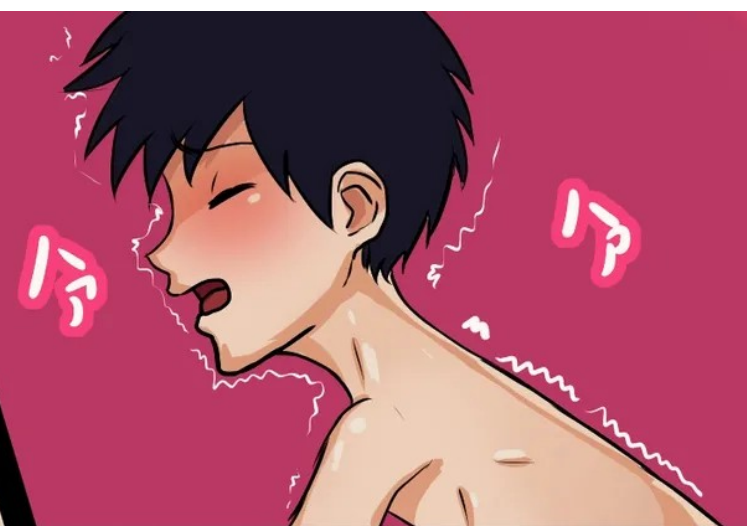
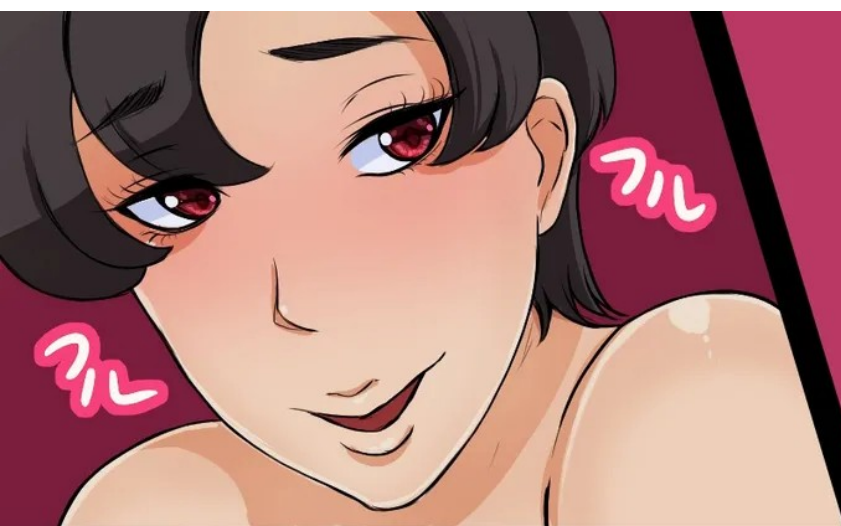








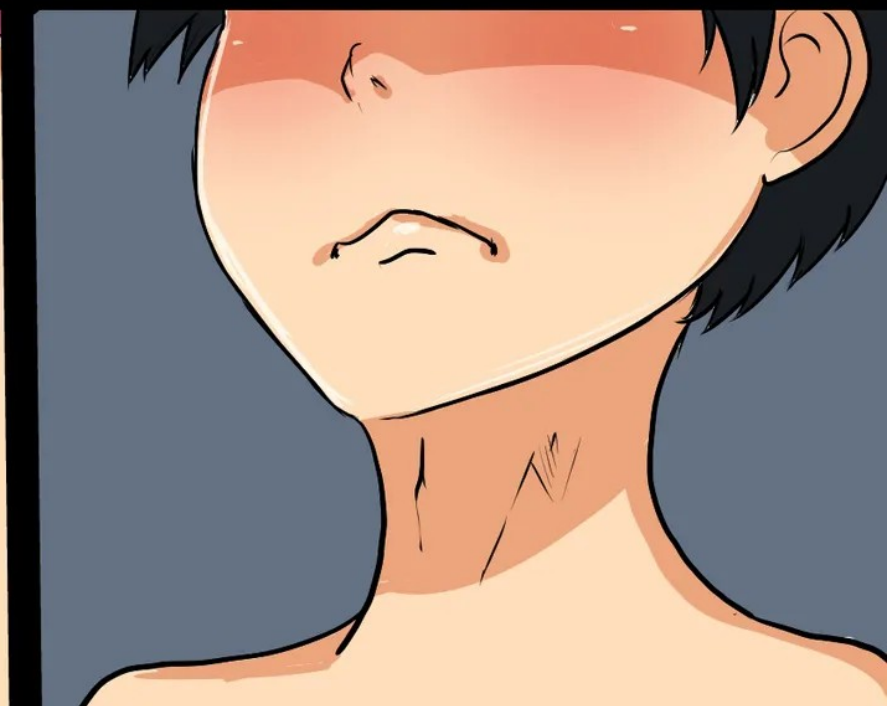
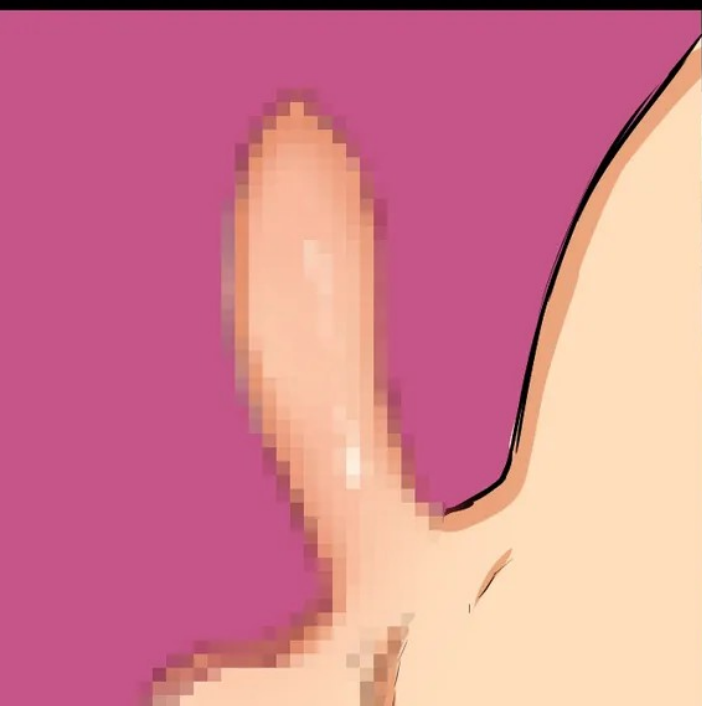


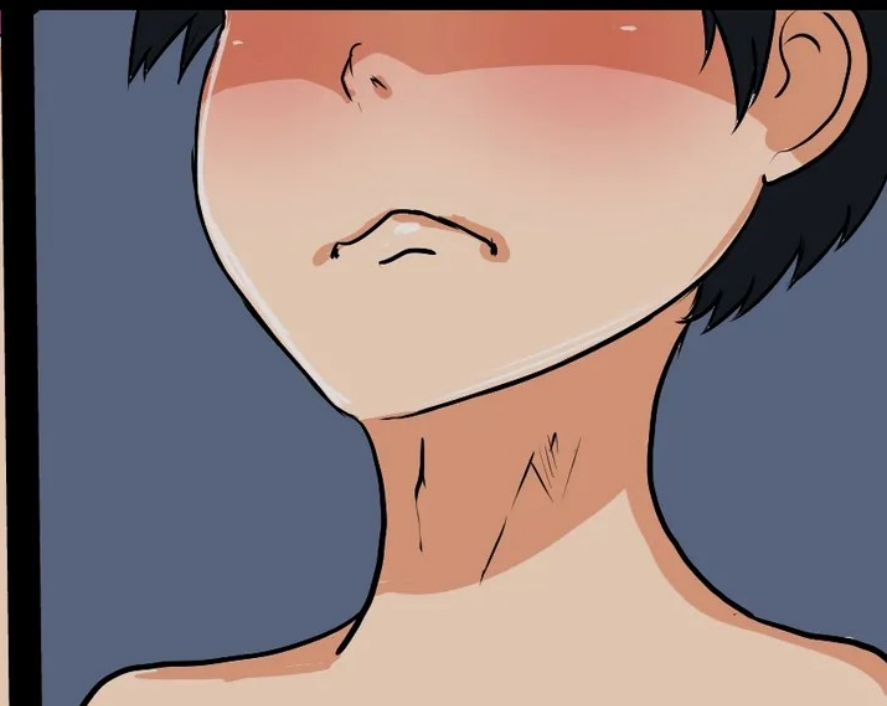
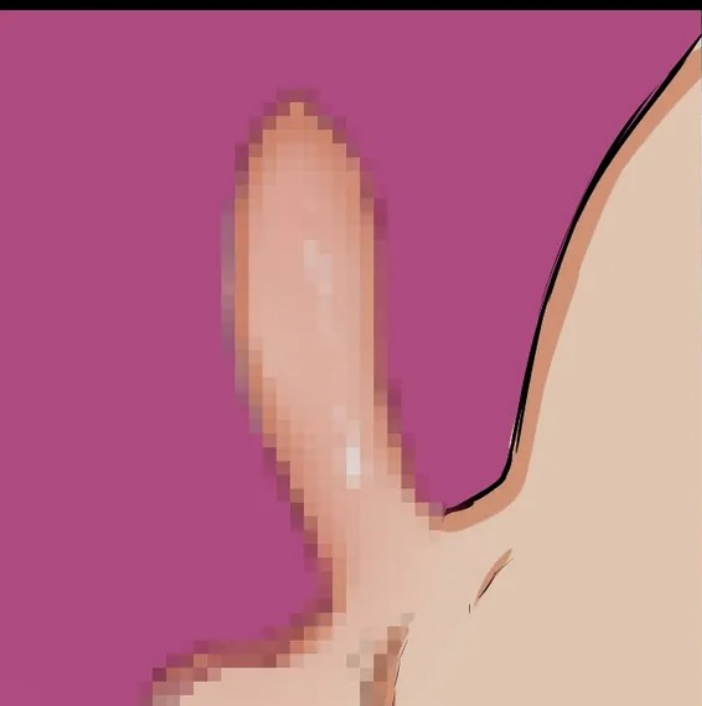


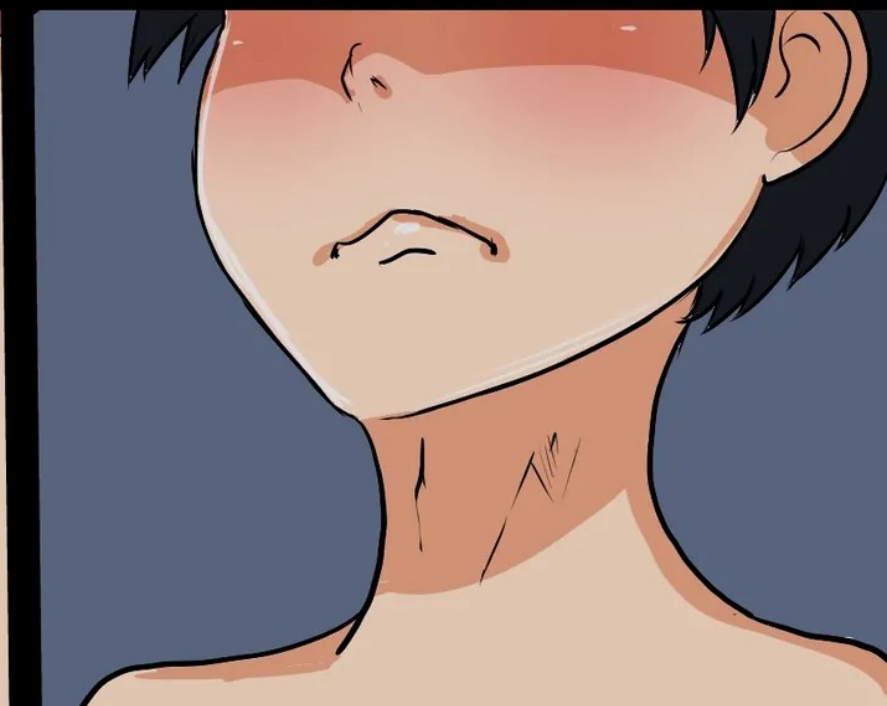
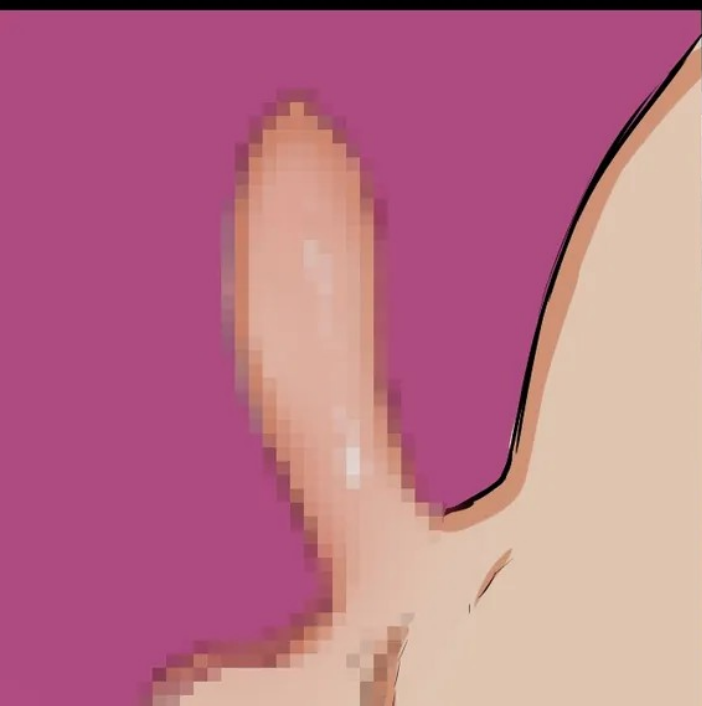


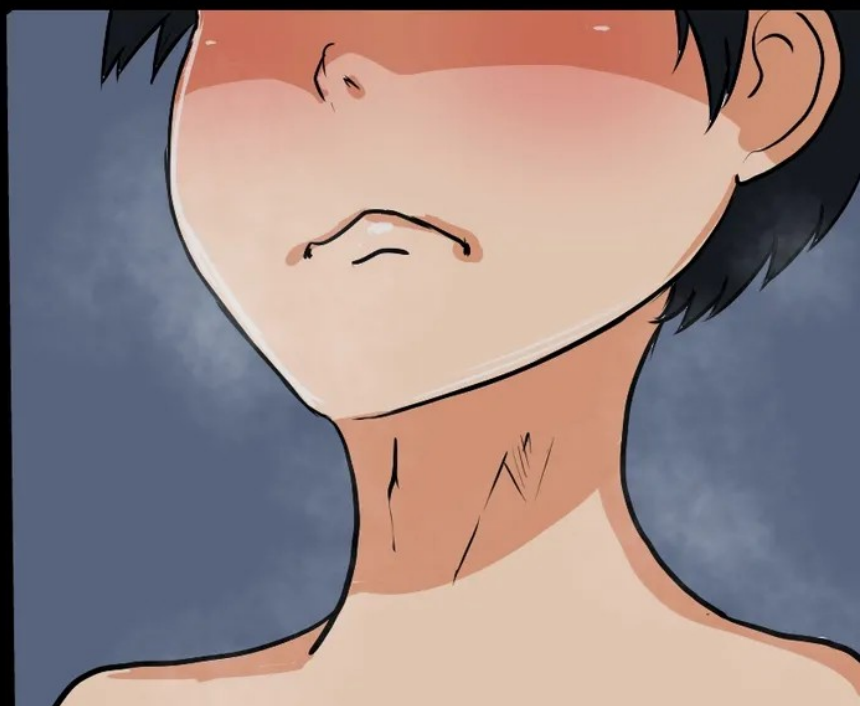
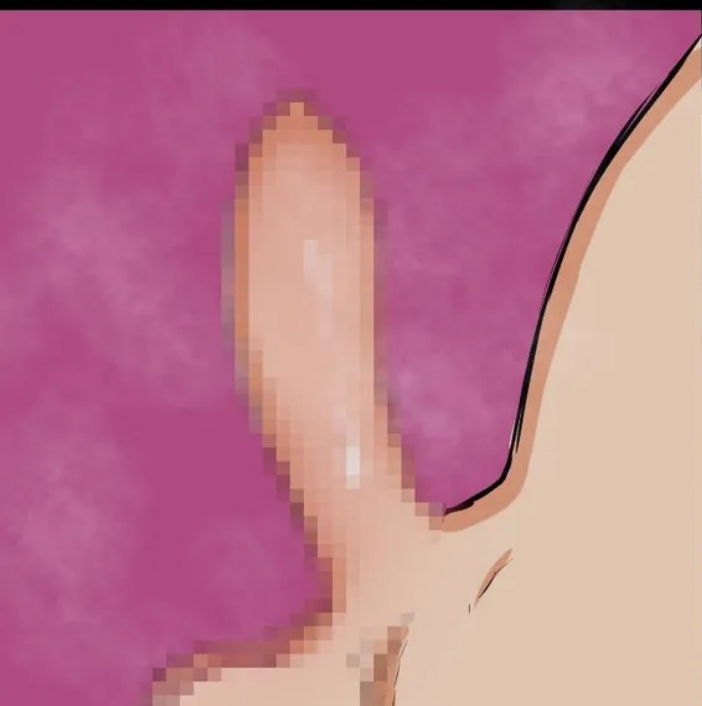






















ドキッ

×××

×××

×××

♡ 可愛い♡



























